Panasonic®

MD ステレオシステム

取扱説明書

品番　SC-PM47MD

このたびは、MD ステレオシステムをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

■ この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
　そのあと保存し、必要なときにお読みください。

■ 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

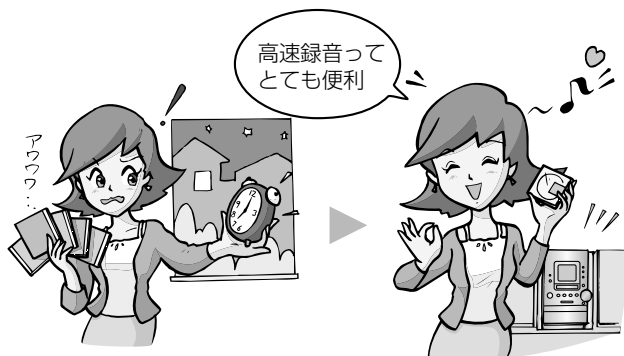
MDLP

上手に使って上手に節電

保証書別添付

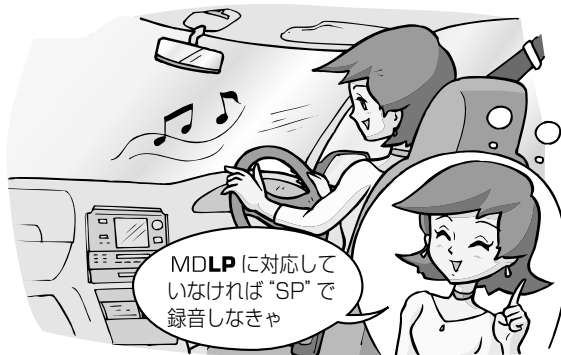
RQT7068-3S

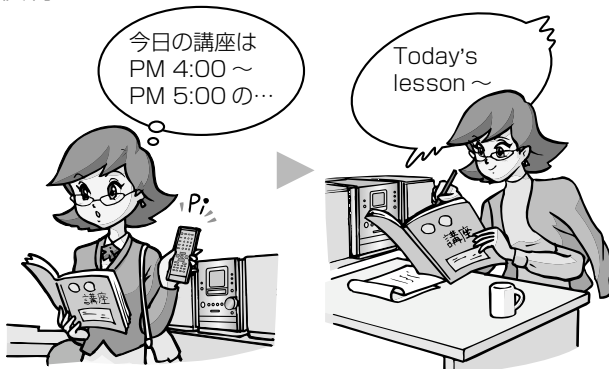
すばやく MD に録音 34 ページ

高速録音を使えば、短時間で録音できます。

大好きな MD を もう一枚 52 ページ

ポータブル MD プレーヤーから本機の MD へ録音できます。

車で MD を再生 30 ページ

カーオーディオが MD**LP** に対応しているかご確認ください。

ラジオ講座を忘れずに録音 49 ページ

予約した時間に録音できる「留守録タイマー」が便利です。

デモ機能 11 ページ

電源を切っても表示部は、自動的に点灯し変化します。

安全上のご注意 必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■ **表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。**

警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■ **お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。**
（下記は、絵表示の一例です。）

	この絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

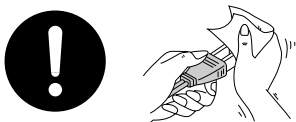
⚠ 警告

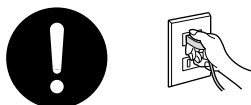
電源コードについて

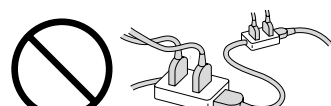
電源コード・プラグを破損するようなことはしない

［傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない。］

- 傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。
- 抜くときは,プラグを持ち、まっすぐ抜いてください。
- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

電源プラグのほこり等は定期的にとる

- プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり火災の原因になります。
  電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。
- 長期間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。

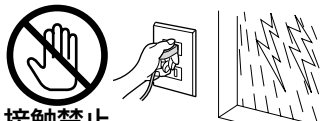
電源プラグは根元まで確実に差し込む

- 差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。
- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流 100 V 以外での使用はしない

- たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

- 感電の原因になります。

雷について

雷が鳴ったら、アンテナ線や機器、電源プラグに触れない

- 感電の恐れがあります。

ご使用について

機器内部に金属物を入れたり、水をかけたり濡らしたりしない

- ショートや発熱により火災や感電の原因になります。
- 機器の上に液体の入った容器や金属物を置かないでください。
- 特にお子様にはご注意ください。

⚠ 警告

ご使用について

分解、改造したりしない

分解禁止

- 内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。
- 内部の点検や修理は、販売店へご依頼ください。

もし異常が起こったら

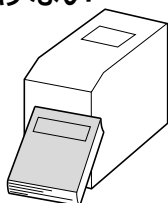
異常があったときは電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

- **機器内部に金属や水、異物が入ったとき**
- **煙や異臭、異音が出たり、落下、破損したとき**
- そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。
- 販売店にご相談ください。

⚠ 注意

設置・接続について

放熱を妨げない

- 内部に熱がこもると、機器のケースが変形したり、火災の原因になります。

油煙や湯気の当たるところや湿気やほこりの多いところに置かない

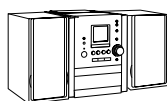
- 電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災や感電の原因になることがあります。

屋外アンテナの設置・工事は自分でしない

- 強風でアンテナが倒れた場合に、感電やけがの原因になることがあります。
- 設置・工事は販売店にご相談ください。

不安定な場所に置かない

- **上に大きなもの、重いものを載せない**
- **壁や天井に取り付けない**
- 機器が落ちたり、倒れたりして、けがの原因になることがあります。

異常に温度が高くなるところに置かない

- 機器表面や部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。
- 直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。

スピーカーは付属のものを接続する

- 付属以外のスピーカーを接続すると、スピーカーが発熱し、火災の原因になることがあります。

ご使用について

ヘッドホン使用時は、音量を上げすぎない

- 耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

CD トレイの挿入口の奥に手を入れない

指に注意

- 閉まるときにはさまれて、けがの原因になることがあります。
- 特にお子様にはご注意ください。

安全上のご注意（つづき）

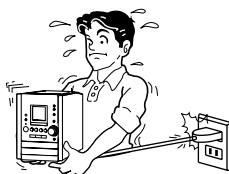
⚠ 注意

ご使用について

機器に乗らない

- 倒れたりして、けがの原因になることがあります。
- 特にお子様にはご注意ください。

持ち運びについて

コードを接続した状態で移動しない

- 接続した状態で移動させようとすると、コードが傷つき火災や感電の原因になることがあります。
- また、引っかかったりして、けがの原因になることがあります。

電池について

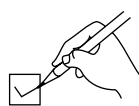
電池は正しく取り扱う

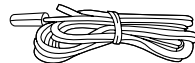
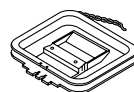
- **⊕と⊖は正しく入れる**
- **長期間使用しないときは、取り出しておく**

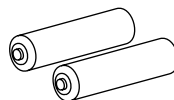
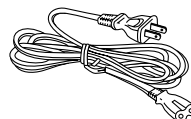
電池は誤った使いかたをしない

- **新・旧電池や違う種類の電池をいっしょに使用しない**
- **乾電池は充電しない**
- **加熱・分解したり、水、火の中へ入れたりしない**
- **ネックレスなどの金属物といっしょにしない**
- **乾電池の代用として充電式電池を使わない**
- **被覆のはがれた電池は使わない**

- 取り扱いを誤ると、電池の液もれにより、火災や周囲汚損の原因になります。
- 万一液もれが起こったら販売店にご相談ください。
- 液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

付属品の確認

付属品の買い替えは、お買い上げの販売店にご相談ください。
カッコ（　　）内は、買い替え時の品番です。

□ FM 簡易型アンテナ......................1 本
（品番 RSA0007-L）

□ AM ループアンテナ......................1 本
（品番 N1DAAAA00001）

□ リモコン ....1 コ
（品番 EUR7711080）

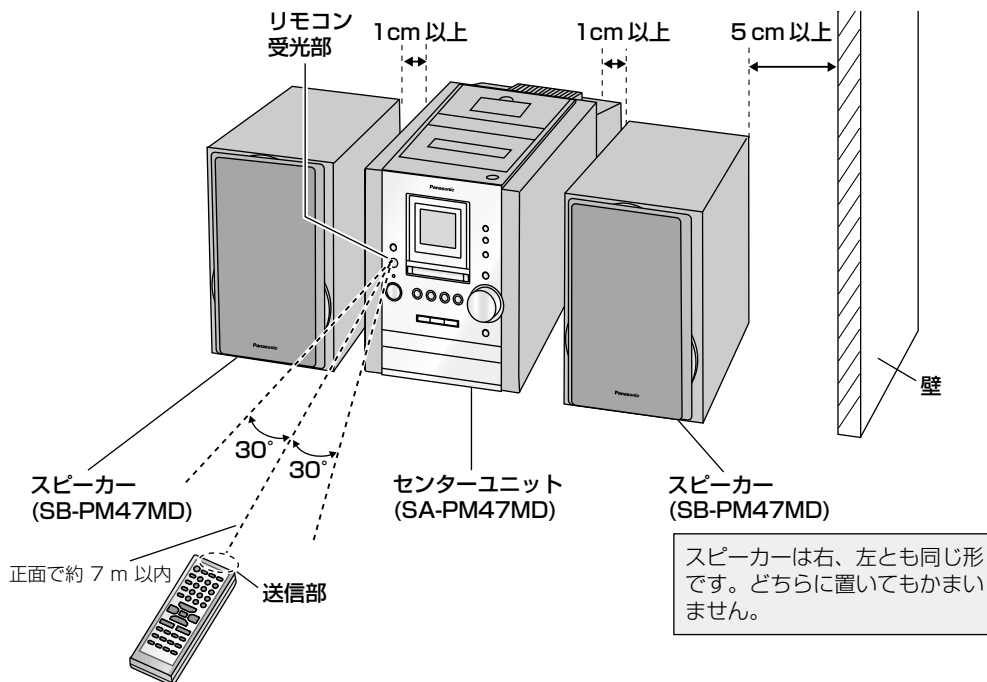
□ リモコン用単 3 形乾電池 ....2 本

□ 電源コード ....1 本
（品番 RJA0012-K）

付属の電源コードは、本機専用です。
他の機器に使用しないでください。

設置とリモコンの準備

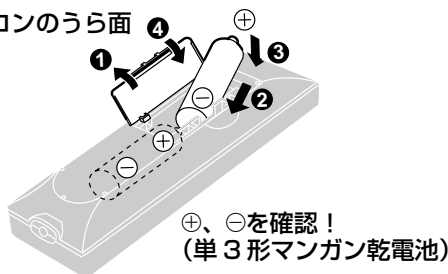
下記の距離は、良い演奏状態や音響効果を得るための目安です。

MD ステレオシステム（SC-PM47MD）

リモコン受光部
1cm 以上
1cm 以上
5 cm 以上
壁
30°
30°
スピーカー
(SB-PM47MD)
センターユニット
(SA-PM47MD)
スピーカー
(SB-PM47MD)
正面で約 7 m 以内
送信部

スピーカーは右、左とも同じ形です。どちらに置いてもかまいません。

より良い音響効果を得るために

- 平らで安定した場所に設置する。
- 堅い壁やガラス窓には、厚地のカーテンなどを掛ける。
- 左右のスピーカーの間隔を広げる。

乾電池（付属）の入れかた

使用上のお願い

- 受光部とリモコンの間に障害物は置かない。
- 受光部に直射日光やインバーター蛍光灯の強い光を当てない。
- 受光部と送信部のほこりに注意。

本体をラックに入れて使用するとき

ラックのガラス扉の厚さや色などによって、リモコンの動作距離が短くなることがあります。

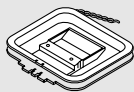
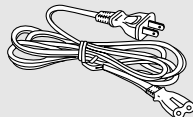
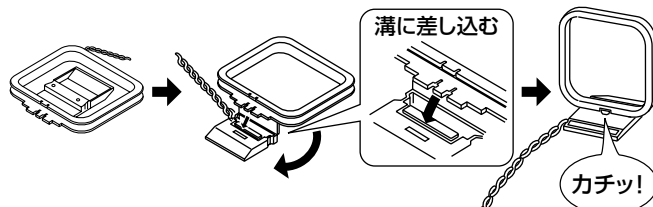
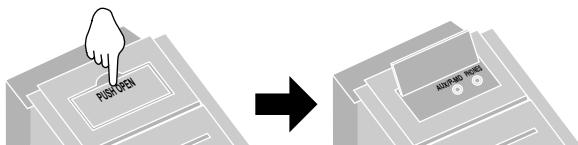
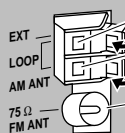
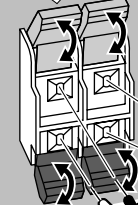
スピーカーについて

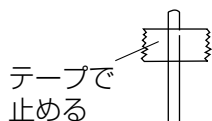
スピーカーは防磁設計ではありません。

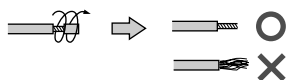
テレビやパソコンなどの近くに置く場合は、10 cm 以上離してください。

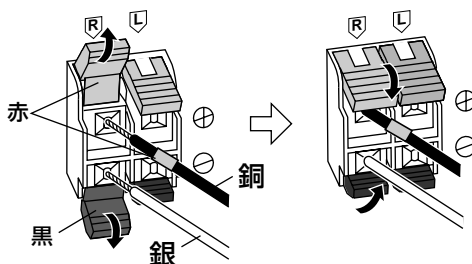
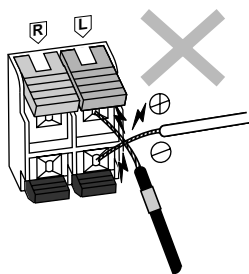
付属のスピーカー以外はご使用になれません。
(➡ 57 ページ)

お願い

- **大きな音量で連続使用しないでください。**
  スピーカー特性の劣化が起こったり、スピーカーの寿命が極端に短くなったりすることがあります。
- **通常の使用時でも以下のような場合は、音量を下げてご使用ください。（音量を下げないと、スピーカー破損の原因になることがあります。）**
  - 音がひずんだとき
  - 音質を調整するとき

まず、コードをつなぐ
AM
ループアンテナ
FM
簡易型アンテナ
電源コード
1
AM ループアンテナ
つないだあと、実際に放送を受信してみて
(➡ 27ページ)、雑音の少ない位置に置きます。
溝に差し込む
カチッ!
こんな機器もつなげます
ポータブルMDプレーヤー
(➡ 52ページ)
AUX/P-MD 端子へ
アナログプレーヤー、
テレビなど (➡ 52ページ)
AUX/P-MD 端子へ
ヘッドホン
(➡ 51ページ)
PHONES 端子へ
天面のふたの開けかた
押す
PUSH OPEN
AUX/P-MD PHONES
ほこりが入ると誤動作の原因となりますので、
使用しないときは、ふたを閉めておいてください。
EXT
LOOP
AM ANT
75 Ω
FM ANT
SPEAKERS (6Ω)
(SB-PM47MD)
R
L
先端のビニール部分を
ねじりながら抜き取る
赤
銅
銀
赤
銀
銅

2 FM 簡易型アンテナ

つないだあと、実際に放送を受信してみて (➡ 27ページ) 雑音の少ない位置で、壁や柱に止めます。

3 スピーカーコード

① スピーカーコードの先端のビニール部分は、ねじりながら抜き取ります。

② 赤いチューブのついたコード（銅色のコード）を赤色の端子につないで、銀色のコードを黒色の端子につなぎます。

誤った接続をすると故障の原因になります。

スピーカーコードをショートさせないでください。回路が破損する恐れがあります。

AC IN ～

4 電源コード

電源コードは最後に接続します。

家庭用電源コンセント
(AC100 V 50/60 Hz)

各部のなまえ

(52) などの数字は参照ページです。

本体

AUX/P-MD 外部入力端子 (52)

PHONES（ヘッドホン）端子 (51)

テープホルダー

表示部（下記）

AUX/P-MD 外部入力切り換えボタン (53)

リモコン受光部

MD 挿入口

AC IN（通電）ランプ
電源コードを接続すると赤色点灯

POWER ⏻/I（電源）ボタン ⓬

基本操作部

OPEN ▲（テープホルダー開）ボタン ㉕

●AUTO REC、CD ▶ TAPE、CD ▶ MD（CD からテープ、CD から MD へ自動録音）ボタン ㉟

MD REC MODE、–DUAL HI-SPEED（SP/LP2/LP4 選択、高速録音切り換え）ボタン ㉛ ㉟

EJECT ▲（MD 取り出し）ボタン ⓯

VOLUME（音量調節）つまみ ⓭

OPEN/CLOSE ▲（CD トレイ開/閉）ボタン ⓭

CD トレイ ⓭

AUX/P-MD PHONES
Panasonic
CD ▶ TAPE
● AUTO REC
CD ▶ MD
MD REC MODE
– DUAL HI-SPEED
EJECT▲
AUX/P-MD
AC IN
POWER ⏻/I
VOLUME
FM/AM TAPE ◀▶ MD ▶/❚❚ CD ▶/❚❚
REW/✓ STOP ∧/FF
— DEMO
DOWN UP
OPEN/CLOSE ▲

表示部

リモコン

リモコンにオレンジ色で表示された文字の操作は、[SHIFT] を押しながら行います。
下記イラストでは、灰色のボタン（TITLE IN CHARA など）で示しています。

SLEEP、– AUTO OFF（おやすみタイマー、オートオフ）ボタン ㊽

CLOCK/TIMER（時計/タイマー）ボタン ㊻ ㊼

⏻（電源）ボタン

⏲ PLAY/REC（タイマー入/切）ボタン ㊼

TITLE SEARCH（タイトル検索）ボタン ⑲

TITLE IN、CHARA（タイトル入力、文字種類）ボタン ㊷ ㊺

1 ～ 0、≧10（数字）文字入力ボタン

AREA、ENTER（エリアバンク、決定）ボタン ⑲ ㉘

DISPLAY（表示切り換え）ボタン ㊿

DEL、PROGRAM（文字削除、予約）ボタン ⑯ ⑲ ㊺

基本操作部

VOL、REC LEVEL（音量、録音レベル）調節ボタン ㊼ ㊿

ALBUM/GROUP 選択ボタン ⑳ ㉓

HI-SPEED、EDIT MODE（高速録音切り換え、編集モード）ボタン ㉒ ㉞ ㊴

INTRO、AUX/P - MD（イントロスキャン、外部入力切り換え）ボタン ⑲ 53

CD ▶ MD & TAPE ●REC（CD から MD とテープ同時録音）ボタン ㉟

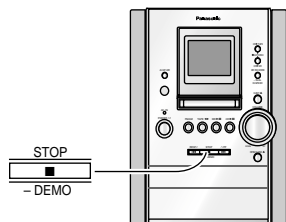
SHIFT ボタン

PLAYLIST、REPEAT（プレイリスト、くり返し）ボタン ⑱ ㉑

SP/LP、PLAY MODE（SP/LP2/LP4 選択、再生モード切り換え）ボタン ⑰ ㉕ ㉗ ㉛

RE-MASTER、MUTING（リ. マスター、消音）ボタン ㊿

SURROUND、SOUND（音質切り換え）ボタン ㊿ 51

表示部の変化について デモ機能

電源コードをコンセントに差し込むと、表示部が自動的に点灯し、次々と変化します。これを**デモ（デモンストレーション）機能**と呼びます。

お買い上げ時は、デモ機能が「入」に設定されているので電源を「切」にしても、表示部は全消灯せず、デモ機能が働きます。

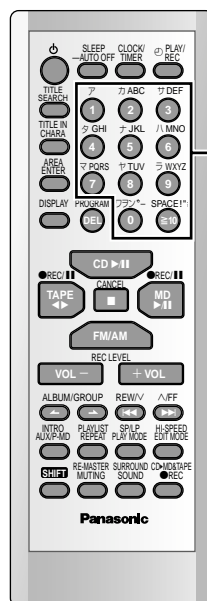
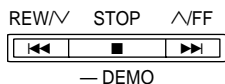
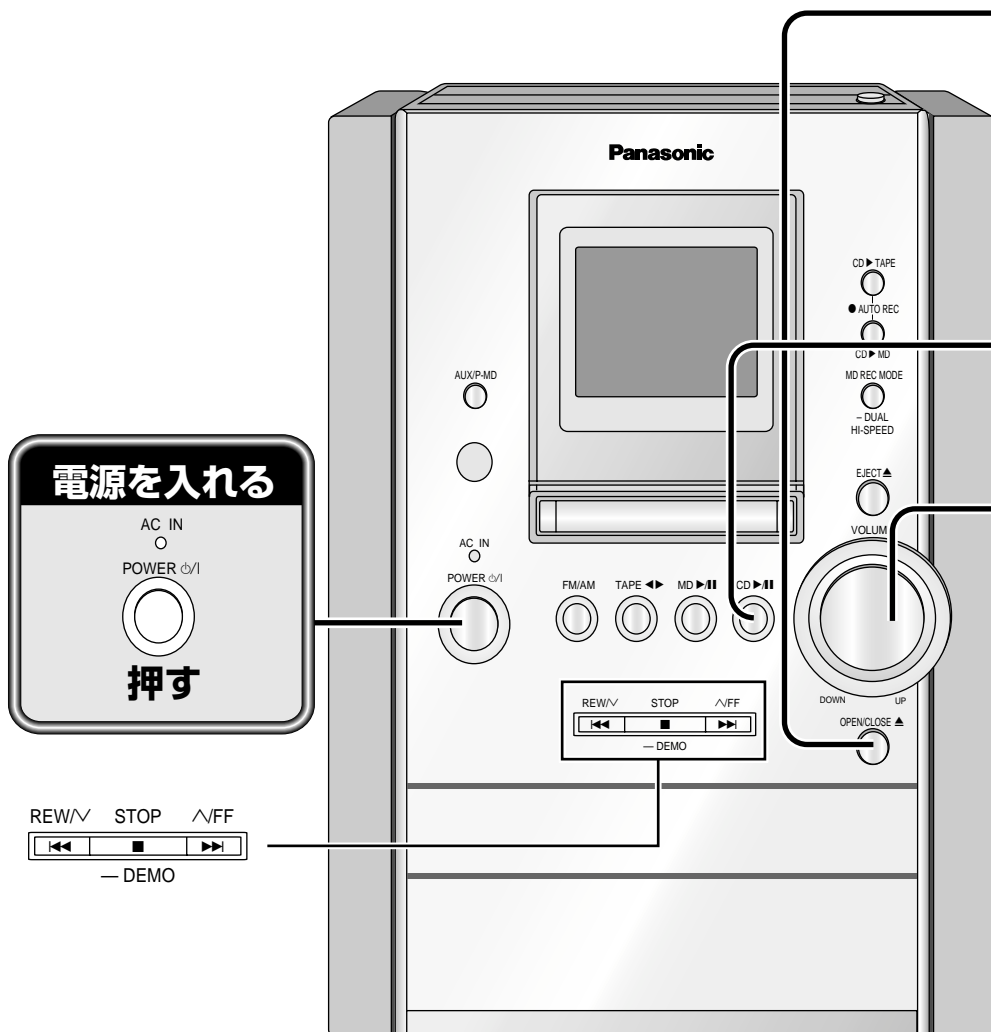
デモ機能を「切」にするには

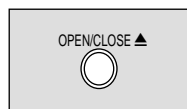
STOP ■ – DEMO

デモ機能動作中に
"DEMO OFF" と表示するまで押し続ける

DEMO OFF

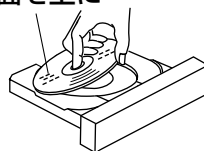
押し続けるたびに
DEMO OFF（切）⇄ DEMO ON（入）

本機の時計を合わせると、デモ機能は自動的に「切」になります。時計の合わせかたについては、「時計を合わせる」（46 ページ）をご覧ください。

上手に使いこなすには、56 ページ「CD について」をお読みください。

1

押してトレイを開けて、

CD を入れる

（自動的に電源も入ります。）

閉めるには、もう 1 度押す。

CD モードになっているときは、曲数・総再生時間が表示されます。

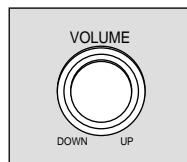
曲数　総再生時間

CD 17 64:34

2

押す

1 曲目から最終曲まで順に再生して、自動停止します。

3

音量を調節する

途中で止める

押す

一時停止する

押す

（再開するには、もう 1 度押す）

曲を前後にとび越す（スキップ）

押す

早送り・早戻しする（サーチ）

⋀/FF　REW/⋁

再生中（または一時停止中に）

押し続ける

残り時間などの情報を見る

リモコンのみ

押す

- 押すたびに、表示部の表示が切り換わります。
- WMA/MP3 の場合、残り時間は表示されません。

好みの曲から再生する（ダイレクトプレイ）

リモコンのみ

好みの曲番を**押す**

10 以上の曲番を選ぶ

（例）　曲番 24

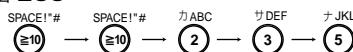
≧10 → 2 → 4

CD -

100 以上の曲番を選ぶ（ WMA/MP3 ）

（例）　曲番 235

≧10 → ≧10 → 2 → 3 → 5

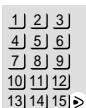
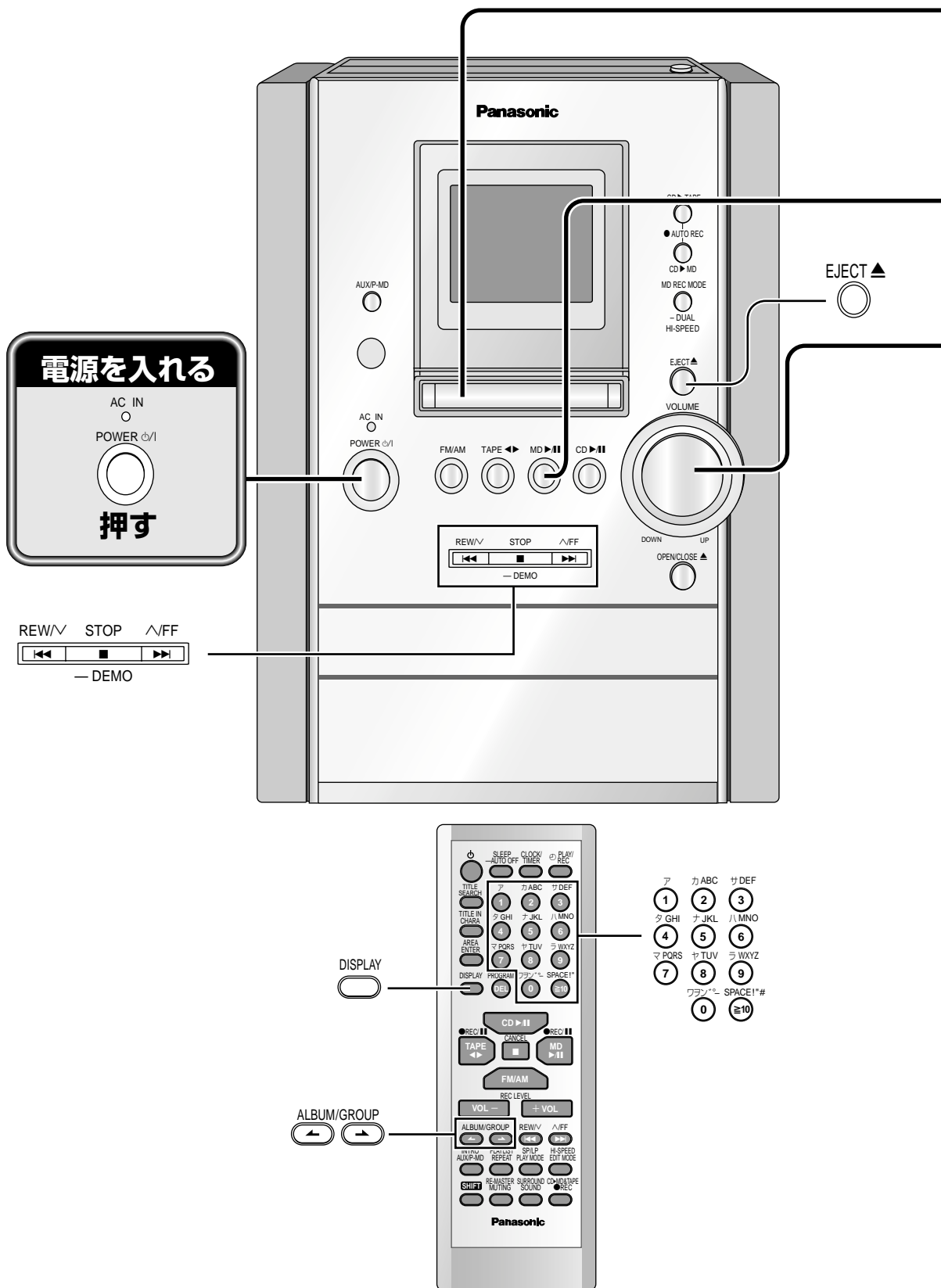
CD---

選んだ曲から最終曲まで順に再生します。

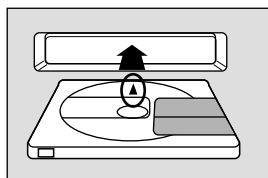
CD を取り出す　OPEN/CLOSE ▲　**押す**

閉めるにはもう 1 度押す。

“⊳ ”と表示されたら

使用中の CD に 16 曲以上入っていることを示します。

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 ⊳

すでにトレイに CD が入っているときには手順 **2** から行うと自動的に電源が入り、再生が始まります。（ワンタッチプレイ）

上手に使いこなすには、55 ページ「MD について」をお読みください。

1

録音済み MD を入れる

（自動的に電源も入ります。）

MD モードになっているときは、曲数・総再生時間が表示されます。

2

押す

１曲目から最終曲まで順に再生して、自動停止します。

3

音量を調節する

途中で止める　STOP ■ – DEMO　**押す**

一時停止する　MD ▶/II　**押す**（再開するには、もう 1 度押す）

曲を前後にとび越す（スキップ）　⋀/FF ▶▶I　REW/⋁ I◀◀　**押す**

早送り・早戻しする（サーチ）　⋀/FF ▶▶I　REW/⋁ I◀◀　再生中（または一時停止中に）**押し続ける**

グループを前後にとび越す（グループスキップ）　ALBUM/GROUP　**押す**

リモコンのみ

残り時間やタイトルを表示させる　DISPLAY　**押す**

リモコンのみ

押すたびに内容が切り換わります。

好みの曲から再生する（ダイレクトプレイ）

リモコンのみ

1 ア　2 カABC　3 サDEF　4 タGHI　5 ナJKL　6 ハMNO　7 マPQRS　8 ヤTUV　9 ラWXYZ　0 ワヲン゛゜-　≧10 SPACE!"#

好みの曲番を**押す**

10 以上の曲番を選ぶ

（例）曲番 24

≧10 → 2 → 4

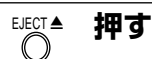
MD -–

100 以上の曲番を選ぶ

（例）曲番 235

≧10 → ≧10 → 2 → 3 → 5

MD -–-

選んだ曲から最終曲まで順に再生します。

MD を取り出す　EJECT ▲　**押す**

MDLP（長時間ステレオ録音/再生）について

MDLP は音声圧縮技術によって長時間（2 倍または 4 倍）ステレオ録音、再生できる方式です。

録音したときのモード（SP/LP2/LP4）に従って再生します。

再生時には、表示部に次のように表示されます。

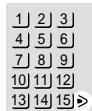
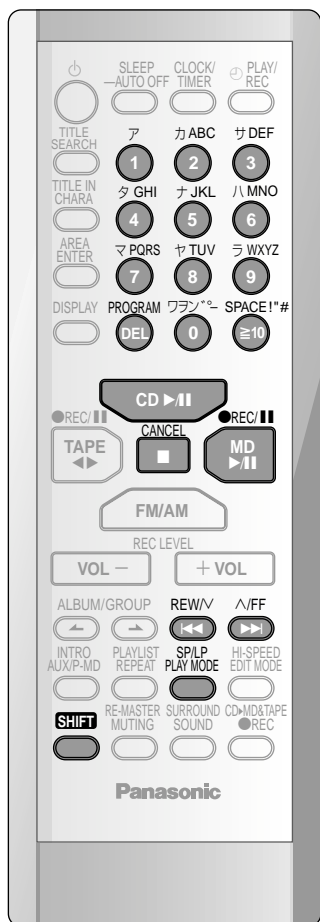
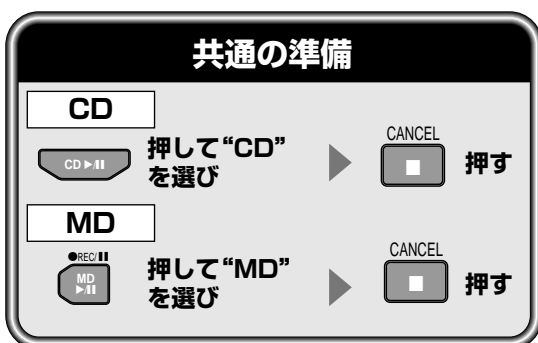
- 標準時間録音モードで録音した曲のとき：“SP”
- 2 倍長時間録音（ステレオ）した曲のとき：“LP2”
- 4 倍長時間録音（ステレオ）した曲のとき：“LP4”

LP2

MDLPで録音する（➡ 31 ページ）

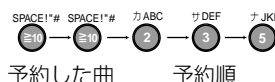
“▷”と表示されたら

使用中の MD に 16 曲以上入っていることを示します。

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 ▷

すでに MD が入っているときには、手順 **2** から行うと、自動的に電源が入り、再生が始まります。（ワンタッチプレイ）

好みの曲を予約順に聞く

（プログラムプレイ）

最大 24 曲まで予約できます。

CD　MD

プログラムプレイ

再生を停止する

[■ CANCEL] を押す。（予約内容は保持されます）

予約内容を確認する

停止中に、[◀◀ REW/∨] または [▶▶| ∧/FF] を押す。
押すたびに、曲番と予約順が表示されます。

予約を追加する

停止中に、数字ボタンを押して曲番を選ぶ。

予約内容を取り消す

停止中に、[■ CANCEL] を押す。
“PGM CLEAR” が表示されます。
ディスクを取り出した場合も取り消されます。
曲を選んで取り消すことはできません。

プログラムプレイを一時的に解除する

停止中に、[SHIFT] を押しながら [PROGRAM] を押して “PROGRAM” を消す。（予約内容は保持されます）

● **プログラムプレイに戻る**

① [SHIFT] を押しながら [PROGRAM] を押して “PROGRAM” を表示させる。
② [CD ▶/❚❚] または、[MD ▶/❚❚] を押す。

お知らせ

● プログラムプレイ中のサーチは、MD の場合、予約順に行われ、CD の場合、再生中の曲の中だけで行われます。

1曲だけを聞く（1トラックプレイ）

CD　MD

1 SP/LP PLAY MODE

停止中に
数回押して"1-TRACK"を選ぶ

1-TRACK

押すたびに

（元の表示）→ **1-TRACK** → 1-GROUP
↑—— RANDOM ←——┘

※ 1-GROUP はグループ編集している MD でのみ表示

2 REW/∨ **または** ∧/FF

押して好みの曲番を選ぶ

3 CD ▶/II **または** ●REC/II MD ▶/II

押す
1曲を再生して、自動停止します。

順不同に聞く（ランダムプレイ）

CD　MD

1 SP/LP PLAY MODE

停止中に
数回押して"RANDOM"を選ぶ

RANDOM

押すたびに

（元の表示）→ 1-TRACK → 1-GROUP
↑—— **RANDOM** ←——┘

※ 1-GROUP はグループ編集している MD でのみ表示

2 CD ▶/II **または** ●REC/II MD ▶/II

押す
再生が始まります。

1トラックプレイ

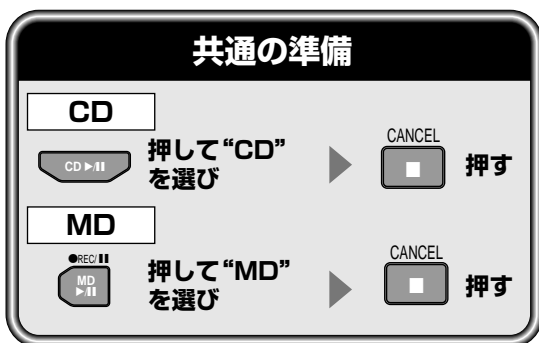
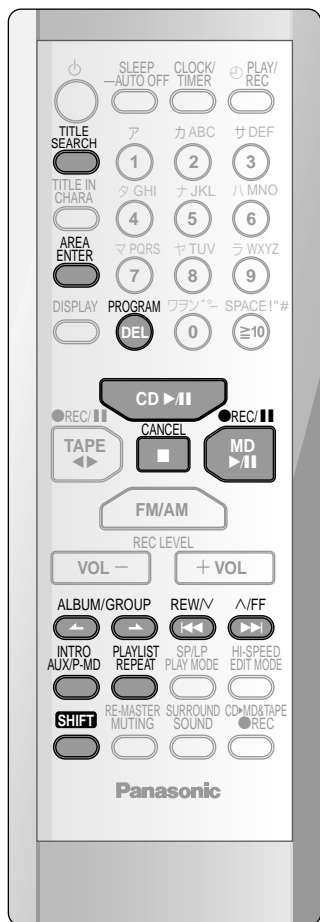
解除する
停止中に、[PLAY MODE] を数回押して "1-TRACK" を消す。

手順 2 で数字ボタンを押して曲番を選んでも再生できます。

ランダムプレイ

解除する
停止中に、[PLAY MODE] を数回押して "RANDOM" を消す。

お知らせ

- ランダムプレイ中は、前の曲にスキップすることはできません。
- サーチは、再生している曲の中のみです。

再生をくり返す（リピートプレイ）

好みの曲を予約順にくり返す (➡ 16 ページ)	PLAYLIST REPEAT 押す
1 曲だけをくり返す (➡ 17 ページ)	
順不同にくり返す (➡ 17 ページ)	

リピートプレイ

お知らせ

HighMAT（ハイマット）規格に準拠して記録されたディスクをプレイリストに合わせて再生する場合、リピートプレイはできません。

タイトル名を検索して再生
（タイトルサーチ）

WMA/MP3 のファイル名または MD のトラック名をカタカナ、アルファベット、数字、記号を入力して検索します。

WMA/MP3 **MD**

1 TITLE SEARCH

停止中に押す

TITLE SEARCH

2 **タイトルを入力する**（➡ 45 ページ）

アルファベットの大文字、小文字やスペースなどは区別して検索されます。

例：「ナツ　ベスト」を検索する

ﾅﾂ ﾍﾞｽﾄ

<正確なタイトルがわからない場合>

- 1 文字で検索する
  例：「ナ」「ツ」「ヘ」「ス」「ト」
  （空白）だけでは検索できません。
- 1 ～ 3 文字ほどで検索する
  例：「ナツ」「ベス」「スト」「ベスト」

3 AREA ENTER

押す

検索が始まります。

SEARCH

候補の曲が見つかると

MD 12 FIND
ﾅﾂ ﾍﾞｽﾄ

4 **さらに曲を探す場合**

REW/∨

または

∧/FF

押す

前または次の候補の曲が検索されます。

5

または

押す

検索された曲から再生します。

タイトルサーチ

解除する

[■ CANCEL] または [TITLE SEARCH] を押す。

お知らせ

- 前回入力したタイトルは記憶されています。不要なタイトルが表示されたときは、[DEL] を押してすべての文字を消してから、新しいタイトルを入力してください。
- 最大 12 文字まで入力できます。濁点（゛）や半濁点（゜）も 1 文字になります。

イントロで曲を探して再生
（イントロスキャン）

WMA/MP3 では各アルバム、MD では各グループの先頭曲を順に約 10 秒間再生します。

WMA/MP3 **MD**

1 SHIFT **停止中に押しながら**

INTRO AUX/P-MD **押す**

アルバム/グループの先頭曲を約 10 秒間ずつ再生します。

WMA/MP3

ALBUM SCAN

MD

GROUP SCAN

2

または

押す

現在スキャン再生している位置から再生します。

イントロスキャン

解除する

[■ CANCEL] を押す。

前後のアルバム/グループのイントロを聞く

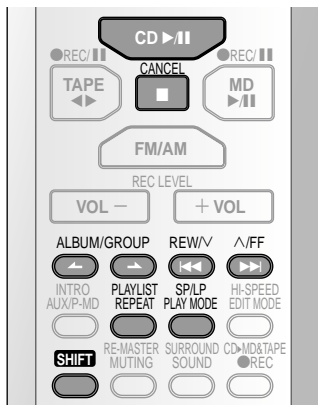
[⏶ ALBUM/GROUP] または [⏶ ALBUM/GROUP] を押す。

WMA／MP3 の聞きかた

パソコンなどで音楽用 CD-R/RW に記録した WMA、MP3 を再生できます。

共通の準備

WMA/MP3

CD ▶/II 押して"CD"を選び ▶ CANCEL ■ 押す

本機で再生できるファイルを作るには

- 使用できるフォーマット： ISO9660 level 1 および、level 2
- 漢字・ひらがなは、パソコンでは表示されますが、本機では空白となります。パソコンでフォルダやファイルに名前を付けるときは、本機で表示できるように、カタカナ・アルファベット・数字・記号を使ってください。
- WMA/MP3 ファイルの作成ソフトの説明書もご参照ください。記録状態により再生できない場合があります。

WMA/MP3 で記録された CD-R/RW について

- 基本的な操作は CD と同じです。
- パソコン等でフォルダやファイルに付けた名前をそれぞれ、アルバム名・トラック名として扱います。
- WMA/MP3 ファイルが入っていないフォルダはスキップされます。
- 早送り・早戻し（サーチ）はできません。

WMA の再生について

- WMA で記録された曲を本機で再生すると、"TRACK PROTECTED" が表示され再生できないことがあります。これは再生しようとした曲が著作権保護されていることを示しています。
- 著作権保護された曲は、本機では再生できません。
- 詳しくは、WMA の曲を作成する際に使用したソフトメーカーにお問い合わせください。
- HighMAT（ハイマット）規格に準拠して記録されたディスクの場合も同様です。

曲をアルバムごとに聞く

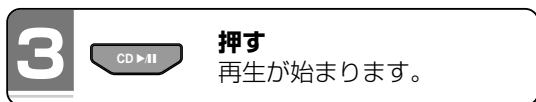
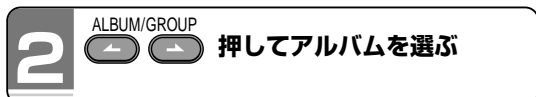
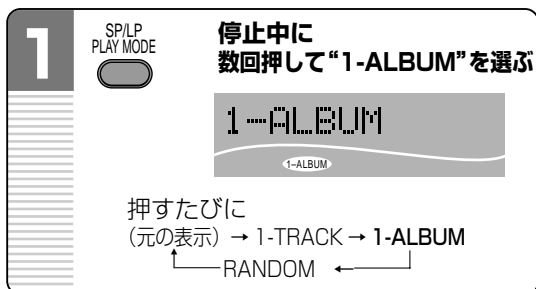
WMA/MP3

1 アルバムのみを聞く（1 アルバムプレイ）

1 SP/LP PLAY MODE **停止中に数回押して"1-ALBUM"を選ぶ**

押すたびに
（元の表示）→ 1-TRACK → **1-ALBUM**
└── RANDOM ←──┘

2 ALBUM/GROUP **押してアルバムを選ぶ**

3 CD ▶/II **押す**
再生が始まります。

解除する

停止中に、[PLAY MODE] を数回押して "1-ALBUM" を消す。

アルバムを前後にとび越す（アルバムスキップ）

[◢ ALBUM/GROUP] または [◣ ALBUM/GROUP] を押して、聞きたいアルバムを選ぶ。

お知らせ

- 本機は ID3 タグに対応していません。
- 本機はマルチセッションに対応しています。
  セッション数が多いと再生が始まるまでに時間がかかることがありますので、セッション数は少なくすることをおすすめします。
- パケットライト方式で記録されたディスクは再生できません。
- MD に録音した場合、MD のトラック名は、WMA/MP3 のファイル名が付きます。
- 同一ディスクで WMA または MP3 と CD-DA（通常の音楽 CD）の両方の形式が別のセッションに記録されている場合、最初のセッションに使用されている形式のみ再生します。
- 最大アルバム数 400、トラック数 999 まで再生できます。階層の深いフォルダが複数ある場合は、すべてのフォルダやファイルを認識できないことがあります。

HighMAT(ハイマット) 規格に準拠して記録されたディスクを再生

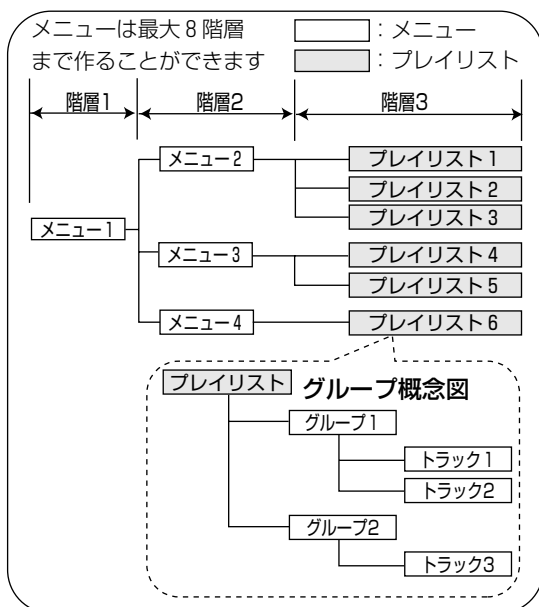
HighMAT 規格に準拠して記録されたディスクをプレイリストに合わせて再生します。

WMA/MP3

HighMAT とは

- HighMAT™ 規格は、音声/画像/動画のファイルを CD-R/RW に記録するときの新しい管理フォーマットです。
- 本機では WMA/MP3 のオーディオファイルが記録されたディスクを再生することができます。
- HighMAT に対応したパソコンソフトで CD を作成するときは、記録するファイルに曲名やアーティスト名などの情報を付けたり、プレイリストの設定なども合わせて収録することができます。
- 作成されたディスクは、パソコンと本機と共通で使うことができます。
- HighMAT 規格に準拠して記録されたディスクを作るためには、Windows XP がインストールされたパソコンが必要です。

プレイリスト： 1 枚のディスク内で再生する曲と順序を定めたもの
メニュー： プレイリストを探すための条件項目となるもの
グループ： プレイリスト内の好みのひとかたまり

プレイリスト概念図

漢字・ひらがなは、パソコンでは表示されますが、本機では空白となります。
プレイリストやメニューは、本機で表示できるように、カタカナ・アルファベット・数字・記号で作成してください。
作成方法については下記ホームページをご参照ください。
http://panasonic.jp/support/

プレイリストに合わせて再生する

1 **CD を入れる**

HighMAT

この表示が出ないディスクでは、以降の操作はできません。

2 SHIFT **押しながら**
▼
PLAYLIST REPEAT **押してプレイリストを探す方法を選びます**

押すたびに
→ **PLAYLIST**: プレイリストだけを順番に探す
↓
MENU: メニューからプレイリストを探す
↓
元の表示: 通常の WMA/MP3 として再生
メニューやプレイリスト表示中でも変更できます。

3

プレイリストを順番に探して再生	**メニューからプレイリストを探して再生**
REW/∨ または ∧/FF プレイリスト表示中 **押して再生したいプレイリストを選ぶ** 押すたびに前または次のプレイリストが表示されます。	ALBUM/GROUP **押してメニューまたはプレイリストを選ぶ** 階層間を移動して探します。 ⬍ REW/∨ または ∧/FF **押してメニューまたはプレイリストを選ぶ** 同じ階層内を移動して探します。 **必要に応じてこの操作をくり返して、探したいプレイリストを選ぶ。**

4 CD ▶/II **押す**
選んだプレイリストの内容で再生します。
[■ CANCEL] を押すと手順 **2** に戻って、プレイリストを選び直すことができます。

グループを選ぶ

再生中に [⏶ ALBUM/GROUP] または [⏷ ALBUM/GROUP] を押して聞きたいグループを選ぶ。

MD をグループで聞く

共通の準備

① **編集したい MD を入れる。**

② ●REC/❚❚ MD ▶/❚❚ **押して"MD"を選び**

▼

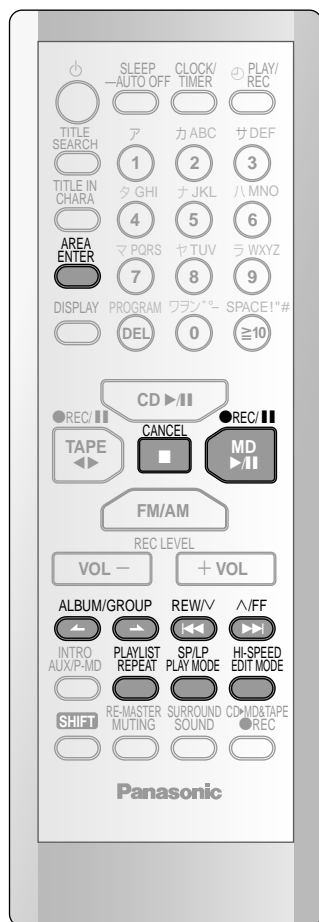
CANCEL ■ **押す**

曲をグループにまとめる

MD に録音した曲を連続した曲ごとにひとかたまりのグループとして管理できます。

例： トラック 3 から 5 までをひとつのグループにする。

5 グループの名前を付ける
(➡ 45 ページ)

点滅後、グループ編集が完了。

共通の項目

途中で止める
[■ CANCEL] を押す。

お知らせ

- グループにできるのは、連続した曲（例： 1 曲目〜10 曲目）のみです。
- 1 曲だけでもグループにできますが、1 曲を複数のグループに入れることはできません。
- グループの順番は編集した順番ではなく、曲番の小さい順になります。
- グループは最大 99 個までつくれます。（UTOC エリアの空き状況により異なります）

グループタイトルをつける

1 **左ページ手順 1 を行う**

2 REW/∨ または ∧/FF **押して“TITLE?”を選び**

TITLE?

押すたびに
SET? ↔ TITLE?
↕ ↕
ALL RELEASE? ↔ RELEASE?
グループが全くない場合は“SET?”しか選べません。

AREA ENTER **押す**

G 1 ナツ ベスト

3 REW/∨ または ∧/FF **押してグループを選び**

G 2 NO TITLE

AREA ENTER **押す**

4 **グループの名前を付ける**
(➡ 45 ページ)

5 AREA ENTER **押す**

UTOC Writing

点滅後、グループタイトル編集が完了。

グループを解除する

● **ひとつのグループを解除する**

① [EDIT MODE] を押して、“GROUP?”を選び、[ENTER] を押す。
② [⏮ REW/∨] または [⏭ ∧/FF] を押して、“RELEASE?”を選び、[ENTER] を押す。
③ [⏮ REW/∨] または [⏭ ∧/FF] を押して、解除したいグループを選び、[ENTER] を押す。
④ [ENTER] を押す。“UTOC Writing”が表示されます。

● **全グループを解除する**

① [EDIT MODE] を押して、“GROUP?”を選び、[ENTER]を押す。
② [⏮ REW/∨] または [⏭ ∧/FF] を押して、“ALL RELEASE?”を選び、[ENTER] を押す。
③ [ENTER] を押す。“UTOC Writing”が表示されます。

曲をグループごとに聞く

まず、グループ編集を行ってください。(➡ 左 ページ)

1グループのみを聞く（1グループプレイ）

1 SP/LP PLAY MODE **停止中に押して、“1-GROUP”を選ぶ**

押すたびに
（元の表示）→ 1-TRACK → **1-GROUP**
↑ RANDOM ←

2 ALBUM/GROUP **押してグループを選ぶ**

3 ●REC/⏸ MD ▶/⏸ **押す**
再生が始まります。

解除する
停止中に、[PLAY MODE] を数回押して“1-GROUP”を消す。

グループを前後にとび越す（グループスキップ）

1グループをくり返す（1グループリピート）

1 **1グループプレイの設定をする**
(➡ 上記手順 1、2)

2 PLAYLIST REPEAT **押す**

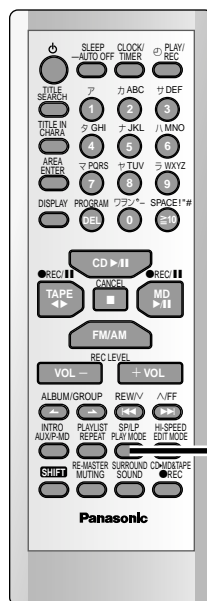
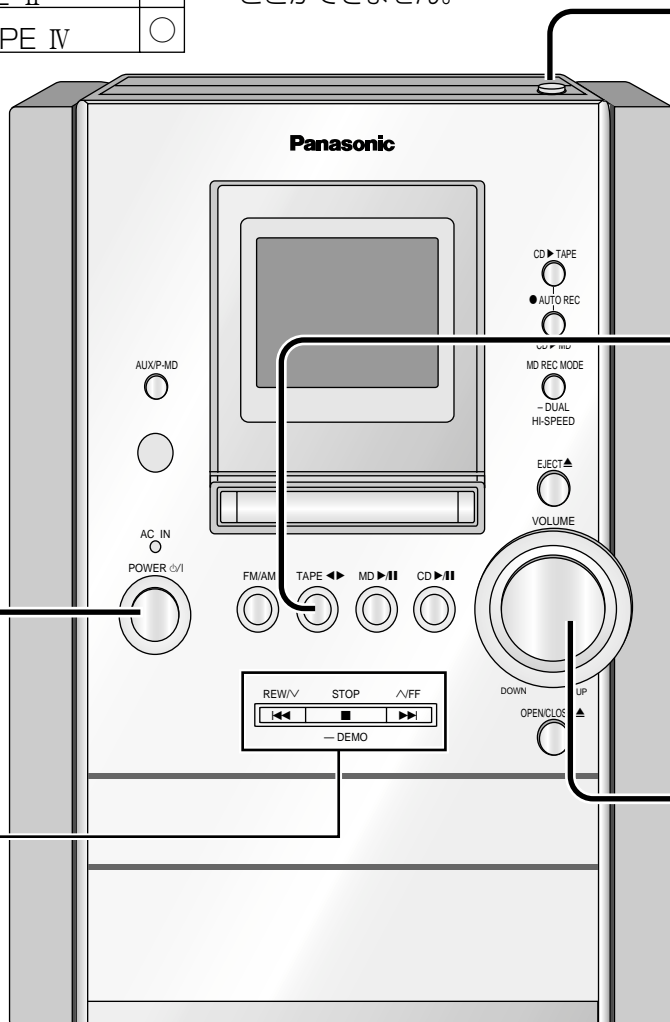
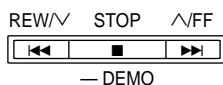
もう一度押すと解除されます。

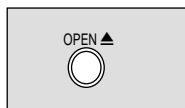
3 ●REC/⏸ MD ▶/⏸ **押す**
再生が始まります。

テープを聞く

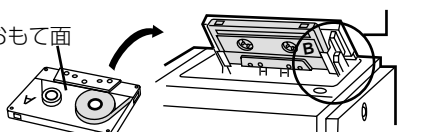
再生できるテープ

テープ	
NORMAL POSITION/TYPE Ⅰ（ノーマルポジション）	○
HIGH POSITION/TYPE Ⅱ（ハイポジション）	○
METAL POSITION/TYPE Ⅳ（メタルポジション）	○

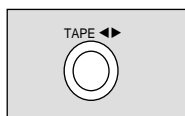
● ハイポジションテープまたはメタルポジションテープは、特性を十分にいかすことができません。

上手に使いこなすには、56 ページ「テープ について」をお読みください。

1

押してホルダーを開け
（自動的に電源も入ります。）

テープを入れる

あらかじめ、テープのたるみを取っておいてください。

手でホルダーを閉める。
テープ走行方向は、自動的におもて面 “FWD▷” になります。

2

押す

再生が始まります。

◁REV（うら面から再生） ⇄ FWD▷（おもて面から再生）

3

リモコン

押して

テープのリバースモードを選ぶ

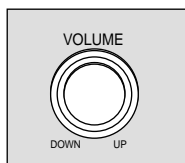
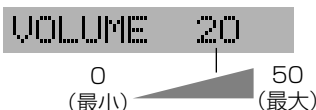
押すたびに

⇄	片面だけ再生して自動停止
⇄⊃	おもて面 → うら面を再生して自動停止
⊂⇄⊃	両面をくり返し再生

4

音量を調節する

VOLUME 20

0（最小） 50（最大）

途中で止める

押す

テープを取り出す

押す

巻戻し・早送りする

または

REW/∨

停止中に
押す

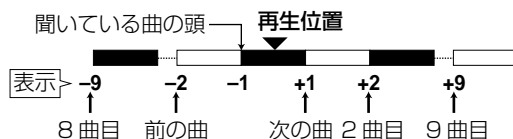
曲を前後にとび越す
（Tape Program Sensor-TPS 機能）（テープ プログラム センサー）

∧/FF **または** REW/∨

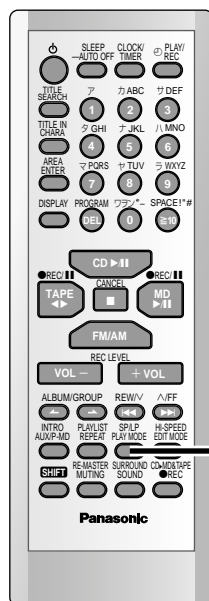
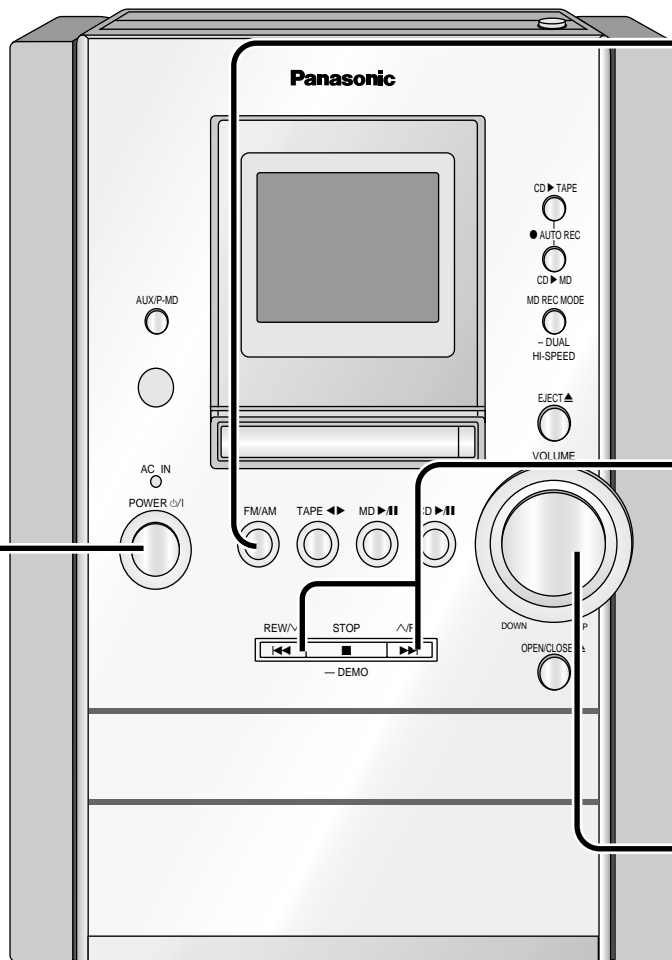
再生中に
押す
（次曲方向 9 曲、前曲方向 8 曲までとび越し可能）

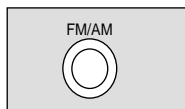
聞いている曲の頭 **再生位置**

表示 –9 –2 –1 +1 +2 +9

8 曲目　前の曲　次の曲　2 曲目　9 曲目

すでにテープが入っているときには、手順 **2** から行うと、自動的に電源が入り、電源を切る前に進んでいた方向で再生が始まります。（ワンタッチプレイ）

お知らせ

TPS 機能は、曲間の約 4 秒間の無音部を検出して働くため、以下のような場合、正しく動作しないことがあります。
- 曲間が短い
- 曲間に雑音がある
- 曲中に無音に近い部分がある

ラジオを聞くには
FM 簡易型アンテナ/AM ループアンテナを必ず接続してください。(➡ 8 ページ)
接続しないと放送を受信できません。

1

押して
"FM"または"AM"を選ぶ
自動的に電源も入り、ラジオに切り換わります。
(ワンタッチプレイ)

FM 76.0 MHz
押すたびに: FM ⇄ AM

2

リモコン
押して
"MANUAL"を選ぶ

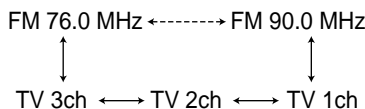
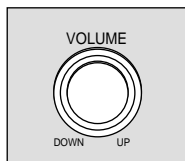
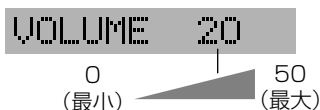
MANUAL
押すたびに: MANUAL ⇄ PRESET

3

いずれかを押して
周波数を合わせる

TUNED : 正確に受信すると表示
STEREO : FM ステレオ放送を受信すると表示

周波数

テレビの受信位置は

4

音量を調節する

自動選局する(オートチューニング)

周波数が動き始めるまで押し続けて、動き始めたら指を離す

放送を受信すると止まります。好みの放送局を受信するまで、同じ操作をくり返してください。

FM ステレオ放送で雑音が多いとき

リモコンのみ

SP/LP
PLAY MODE

"MONO"と表示するまで押し続ける
押し続けるたびに
MONO ⇄ 表示なし

MONO
FM 88.1 MHz

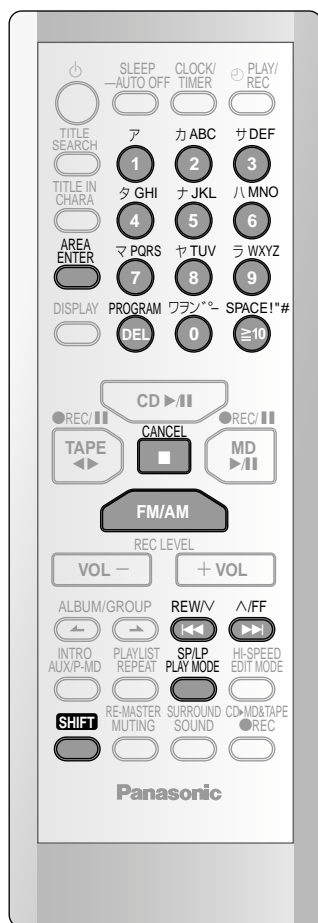
通常は表示なしにしておきます。

お知らせ

- オートチューニング中、周囲に妨害電波があると、放送を受信せずに周波数が止まることがあります。
- 本機の TV 受信回路は、FM 受信回路と兼用しているため、2 または 3ch に FM 放送が混信することがあります。

放送局を記憶させて聞く

エリアバンク（2003 年 4 月現在）

エリア番号	地域名	エリア番号	地域名
1	札幌	21	大津
2	青森	22	奈良
3	秋田	23	和歌山
4	盛岡	24	大阪圏（大阪、神戸、京都）
5	山形	25	鳥取
6	仙台	26	松江
7	福島	27	広島
8	宇都宮	28	山口
9	水戸	29	高松/岡山
10	前橋	30	徳島
11	東京圏（東京、横浜、千葉、さいたま）	31	松山
12	甲府	32	高知
13	松本	33	福岡
14	静岡	34	北九州
15	名古屋圏（名古屋、岐阜）	35	佐賀
16	津	36	長崎
17	新潟	37	大分
18	富山	38	熊本
19	金沢	39	宮崎
20	福井	40	鹿児島
		41	那覇

記憶させる

放送局をチャンネルに記憶させておくと、簡単な操作で聞くことができます。
FM、AM とも、15 局ずつ記憶させることができます。

お住まいの地域を選択する（エリアバンク）

エリア番号を指定するだけで、その地域で受信できる主な FM、AM の放送局を一度に記憶できます。

1 FM/AM **押して“FM”または“AM”を選ぶ**

どちらを選んでいても、1 度の操作で両方とも設定されます。

2 SHIFT **押しながら** AREA ENTER **押す**

≧11≦ トウキョウケン
PGM

3 REW/∨ **または** ∧/FF **押して、エリア番号（➡ 左記）を選ぶ**

エリア番号

≧11≦ トウキョウケン
PGM

4 AREA ENTER **押す**

選んだエリアに記憶されている最初の放送局名と周波数が表示されます。

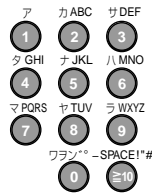
FM 76.1 MHz
Inter FM

エリアバンク

途中で解除する
[■ CANCEL] を押す。

数字ボタンを押して、エリア番号を選ぶこともできます。
10 以上のエリア番号を選ぶ

（例）24： SPACE !"# ≧10 → カ ABC 2 → タ GHI 4

好みの局だけ記憶させる（マニュアルメモリー）

たとえば、エリアバンク指定後の空きチャンネルに、好みの放送局を記憶することができます。

1 FM/AM **押して “FM”または“AM”を選ぶ**

2 SP/LP PLAY MODE **押して、“MANUAL”を選ぶ**

MANUAL

押すたびに： MANUAL ⇄ PRESET

3 REW/∨ または ∧/FF

押して 周波数を合わせる

押し続けて、オートチューニング（➡ 27 ページ）を使えば、早く周波数を合わせることができます。

4 SHIFT **押しながら** PROGRAM DEL **押す**

FM 76.1 MHz
PROGRAM ch

PGM

5

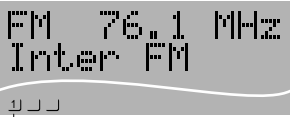
10 秒以内 押してチャンネルを選ぶ

FM 76.1 MHz
PROGRAM ch10

チャンネル

10 以上のチャンネルを選ぶ
（例）12： ≧10 → 1 → 2

続けて記憶させるには手順 **3** から **5** をくり返す。

マニュアルメモリー

途中で解除する
[SHIFT] を押しながら [PROGRAM] を押す。

記憶させた放送局を聞く（プリセットチューニング）

1 FM/AM **押して “FM”または“AM”を選ぶ （TV 音声は“FM”）**

2 SP/LP PLAY MODE **押して “PRESET”を選ぶ**

PRESET

押すたびに： MANUAL ⇄ PRESET

3 REW/∨ または ∧/FF **押して チャンネルを選ぶ**

FM 76.1 MHz
Inter FM

チャンネル

エリアバンクで記憶されたチャンネルを選ぶと放送局名と周波数が表示されます。

プリセットチューニング

数字ボタンを押して、チャンネルを選ぶこともできます。

10 以上のチャンネルを選ぶ
（例）12： → 1 → 2

CD を MD に録音する（シンクロ録音）高速録音可能

電源を入れる

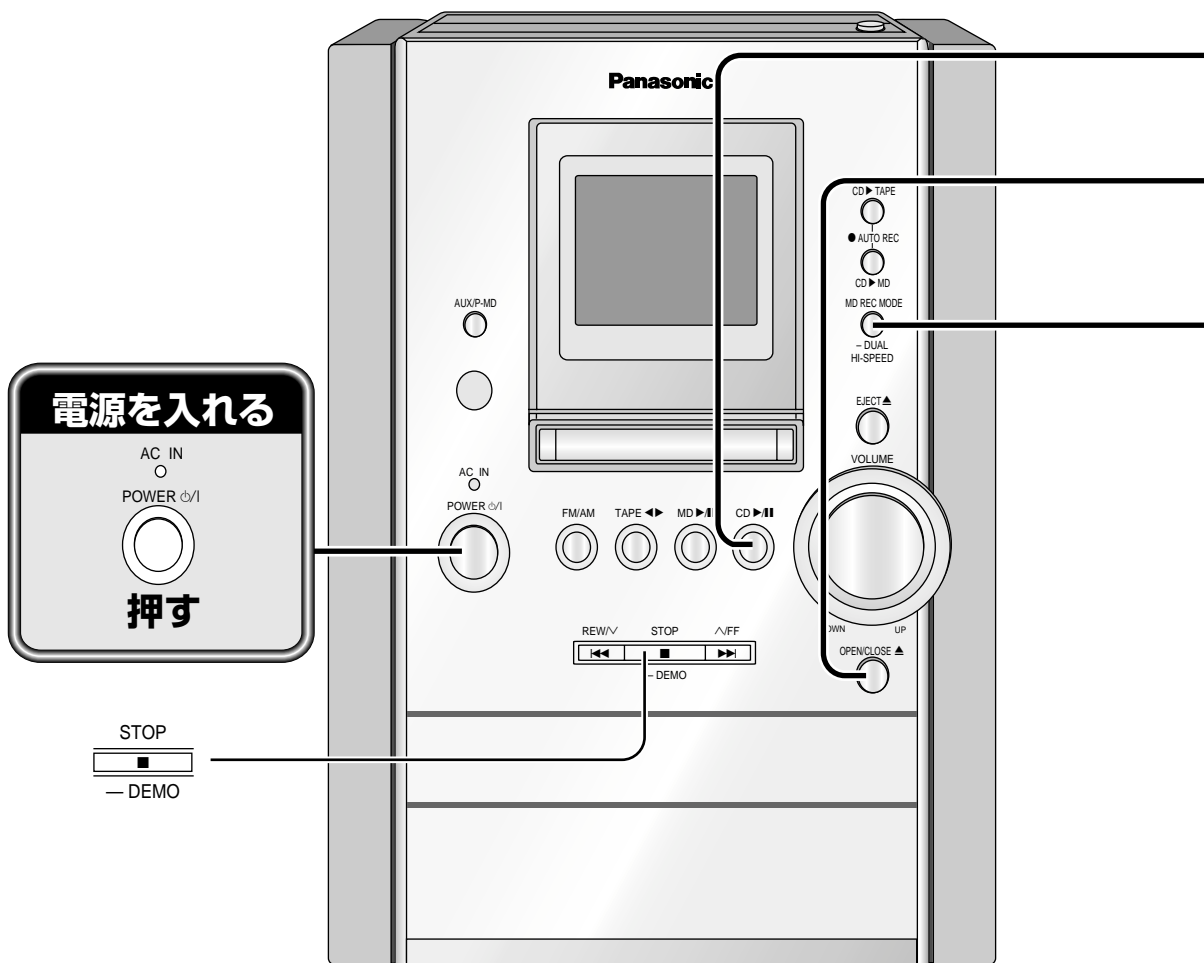
AC IN

POWER ⏻/I

押す

STOP

■

— DEMO

MDLP（長時間ステレオ録音/再生）について

SP/LP2/LP4 モード

LP2 MODE

LP2

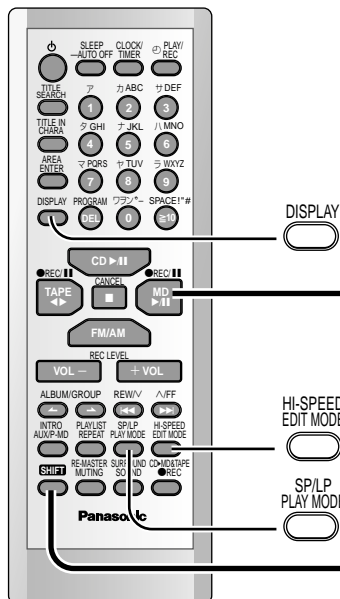
SP モード　：通常ステレオ録音モード
LP2 モード：ステレオ長時間（2 倍）録音モード
LP4 モード：ステレオ長時間（4 倍）録音モード

録音できる時間の違い

	SP モード	LP2 モード	LP4 モード
74 分の MD ディスク	74 分	148 分	296 分
80 分の MD ディスク	80 分	160 分	320 分

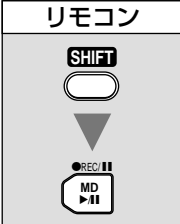
- 本機で LP2 または LP4 モード録音した曲は、MD**LP** に対応した機器以外では再生できません。
- LP4 モードは、特殊な圧縮方式によって、長時間のステレオ録音を実現しているため、ごくまれに雑音が録音されることがあります。
  音質を重視する録音を行うときは、SP モードまたは LP2 モードをおすすめします。

カーオーディオが MDLP に対応していない場合は

- SP モードで録音してください。

MD を上手に使いこなすには、55 ページ「MD について」をお読みください。

準備：録音用 MD を入れる。
（MD モードのとき、何も録音されていない MD を入れると、“BLANK DISC” と表示されます）

1

押して
（自動的に電源も入ります。）
“CD” を選ぶ

CD NO DISC

2

押してトレイを開けて
CD を入れる
閉めるには、もう 1 度押す。

CD 17 64:34

3

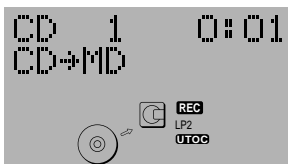
押して
SP/LP2/LP4 モードを選ぶ（➡ 左ページ）

リモコンで [SHIFT] を押しながら [SP/LP] を押しても選ぶことができます。

4

リモコン

押しながら

押す

“UTOC” と “REC” が表示されて、CD の 1 曲目から録音が始まります。
（CD の再生が終わると、MD も自動停止）

途中で止める

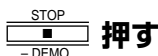
押す

点滅後、録音完了。

一時停止する
リモコンのみ

押しながら

押す
（“REC” が点滅）

CD は一時停止し、MD は録音待機状態になります。
トラックマークが付きます。
（再開するには、もう一度、同じ操作を行う）

MD の残り時間が知りたい
リモコンのみ

DISPLAY

数回押す
残り時間が表示されます。

MD Rem 30:46

MD の残り時間

SP/LP2/LP4 の各モードによって残り時間も変わります。

気に入った曲をすぐ録音する（CD 追っかけ録音）
CD 再生中に [SHIFT] を押しながら [MD ▶/II ● REC/II] を押す。
曲の始めに戻って録音し、最後の曲まで終わると、MD は自動停止します。
曲の途中から録音したい場合は、CD を一時停止し、[SHIFT] を押しながら、[MD ▶/II ● REC/II] を押す。

高速録音する
① 手順 **1** ～ **3** までを行う。
② 高速録音する。(➡ 34 ページ)

SCMS CAN’T COPY と表示されたら（アナログ録音について）
CD-R や CD-RW から録音しようとすると、デジタル録音が制限されるために、このメッセージが出ることがあります。この場合、リモコンの [EDIT MODE] を押して、“ANALOG-REC” にすると、録音できます。
ただし、高速録音 (➡ 34 ページ) はできません。

お知らせ
- WMA/MP3 は自動的にアナログ録音になります。
- WMA/MP3 を録音中は一時停止できません。

CD をテープに録音する

録音できるテープ

NORMAL POSITION/TYPE Ⅰ(ノーマル ポジション)	○
HIGH POSITION/TYPE Ⅱ(ハイ ポジション)	×
METAL POSITION/TYPE Ⅳ(メタル ポジション)	×

● ハイポジションテープ、メタルポジションテープを使うと、本機では正しく録音・消去できません。

Panasonic

CD ▶ TAPE
● AUTO REC
CD ▶ MD
MD REC MODE
– DUAL
HI-SPEED
AUX/P-MD
EJECT ▲
VOLUME
AC IN
POWER ⏻/I
FM/AM
TAPE ◀▶
MD ▶/❚❚
CD ▶/❚❚
DOWN
UP
REW/∨
STOP
∧/FF
— DEMO
OPEN/CLOSE ▲

電源を入れる

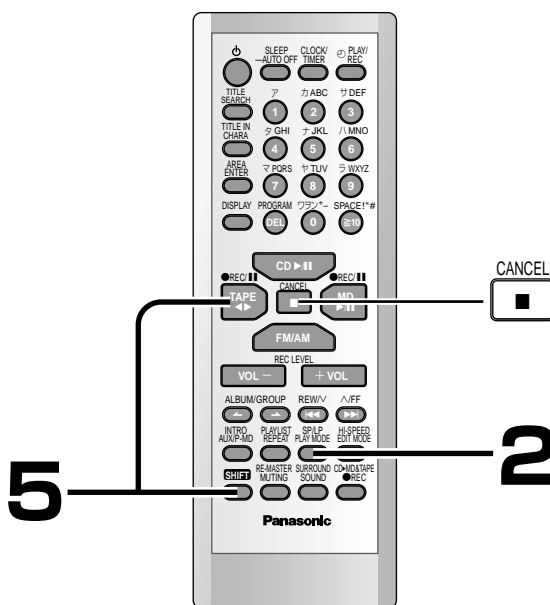
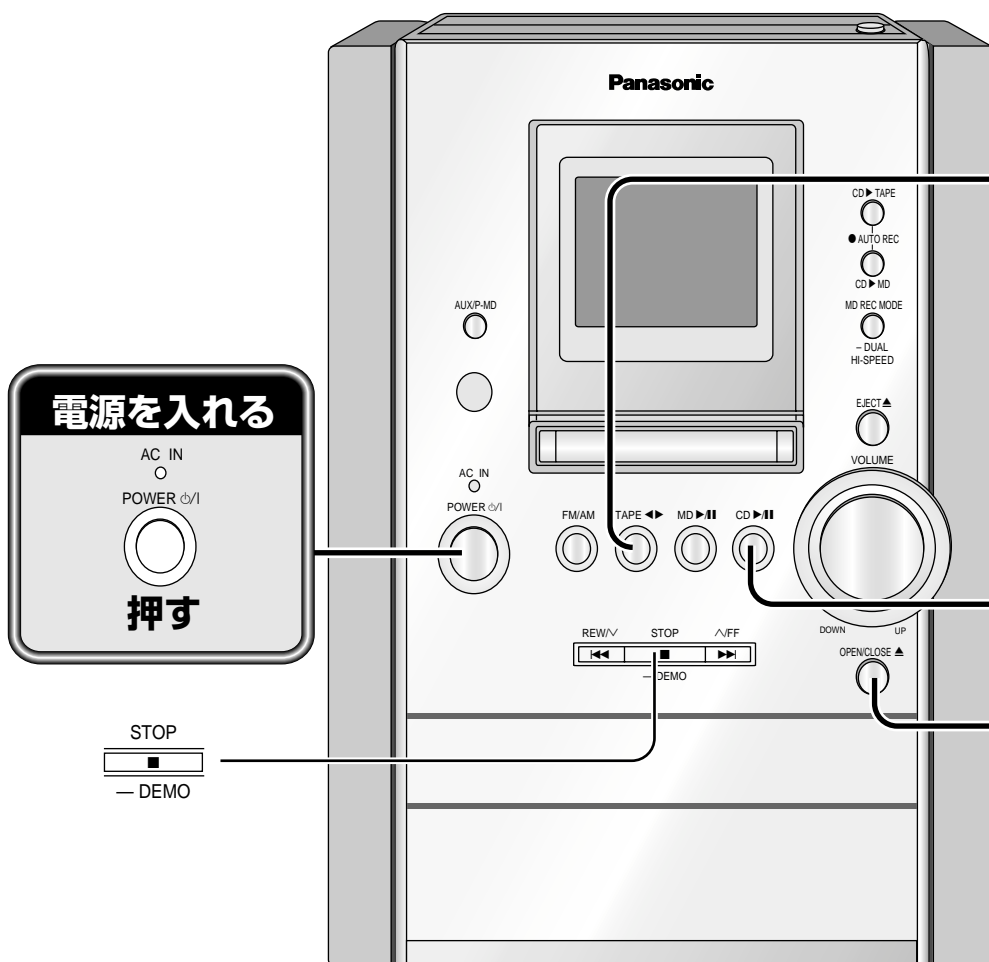
AC IN

POWER ⏻/I

押す

STOP

■

— DEMO

テープを上手に使いこなすには、56 ページ「テープについて」をお読みください。

リーダーテープ部を巻きとる

録音用テープを入れる

ガイドに沿って入れる

おもて面

1

押して
(自動的に電源も入ります。)

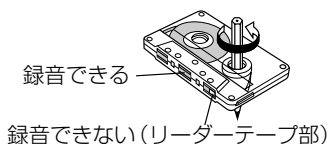
“TAPE”を選ぶ

[■ STOP] を押して再生を止めます。

2

リモコン

SP/LP PLAY MODE

押して

テープのリバースモードを選ぶ

押すたびに

⇄	片面だけ録音して自動停止
⇄⊃ / ⊂⇄⊃	おもて面 → うら面を録音して自動停止

3

押して

“CD”を選ぶ

CD NO DISC

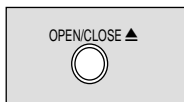
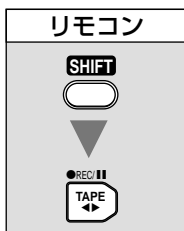
4

押してトレイを開けて

CD を入れる

閉めるには、もう 1 度押す。

CD 17 64:34

5

リモコン

押しながら

押す

“REC” が表示されて、CD の 1 曲目から録音が始まります。
手順 **2** で⊂⇄⊃を選んでいても、⇄⊃に変わります。
(CD の再生が終わると、テープも自動停止)

途中で止める

押す

一時停止する
リモコンのみ

押しながら **押す**

(“REC”が点滅)

(再開するには、もう 1 度同じ操作を行う)

気に入った曲をすぐ録音する(CD 追っかけ録音)

CD 再生中に[SHIFT]を押しながら[TAPE ◀▶ ● REC/❚❚]を押す。
曲の始めに戻って録音し、最後の曲まで終わるとテープは自動停止します。
曲の途中から録音したい場合は、CD を一時停止し、[SHIFT] を押しながら、[TAPE ◀▶ ● REC/❚❚] を押す。

テープのうら面に録音する

テープを入れたあと、下記の操作でテープ走行方向を切り換え、録音します。
① [TAPE ◀▶] を 2 度押す。
② すぐに [■ CANCEL] を押す。
　テープの走行方向が “◁REV” になります。
③ 上記の録音操作を行う。

いろいろな録音

共通の準備

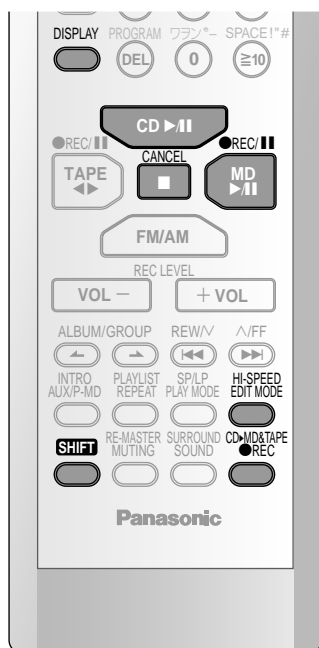
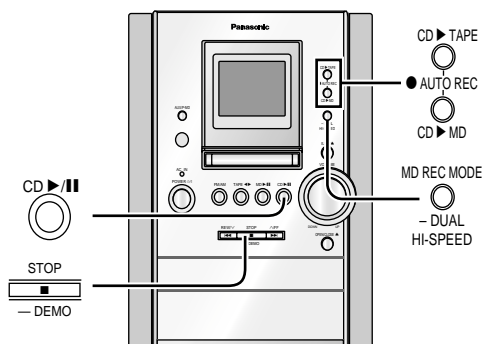
CD

CD トレイを開き CD を入れる。

MD に録音

① 録音用 MD を入れる。
② 必要に応じて SP/LP2/LP4 のいずれかのモードを選ぶ。(➡ 31 ページ)

テープに録音

① 録音用テープを入れる。
② 必要に応じてテープのリバースモードを選ぶ。(➡ 33 ページ)

CD を MD に高速録音する

CD → MD

CD から MD へ最大 4 倍速で録音します。
CD-RW は 2 倍速になります。

1 押して"CD"を選び

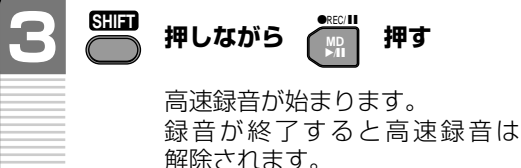
押す

2 停止中に押しながら

押して"HIGH-SPEED"を表示させる

押すたびに
NORMAL-SPEED ⟷ HIGH-SPEED
(定速録音)　(高速録音)

3 SHIFT 押しながら ●REC/II MD ▶/II 押す

高速録音が始まります。
録音が終了すると高速録音は解除されます。

CD から MD に高速録音できる録音の種類

シンクロ録音 (➡ 30 ページ)	○
1 曲をねらい録り (➡ 38 ページ)	○
好みの曲を予約順に録音 (➡ 38 ページ)	×
MD とテープに同時録音 (➡ 35 ページ)	×
CD 1 枚を MD に丸録り (➡ 35 ページ)	○

WMA/MP3 は高速録音できません。

ディスクや条件によっては、4 倍速にならない場合や、高速録音できない場合があります。
高速録音できない場合、定速録音してください。

共通の項目

途中で止める
[■ CANCEL] を押す。

MD の残り時間を知る
[DISPLAY] を残り時間表示になるまで数回押す。

CD を MD に高速録音する

お知らせ

● 高速録音時に音声は聞こえません。

CD 1 枚を MD に丸録りする

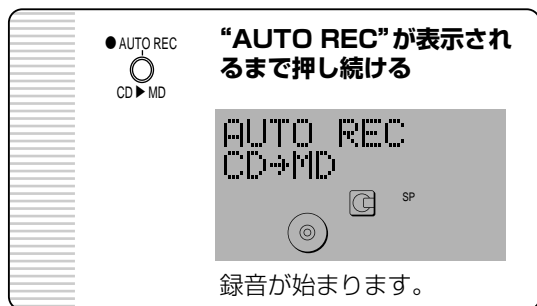
入力を CD に切り換え、CD 1 枚を MD に録音します。

CD → MD （高速録音可能）

● AUTO REC
CD ▶ MD

"AUTO REC"が表示されるまで押し続ける

AUTO REC
CD→MD

録音が始まります。

MD に高速で丸録りする

① 本体の [CD ▶/❚❚] を押して "CD" を選び、[■ STOP] を押す。
② 本体の [−DUAL HI-SPEED] を "HIGH-SPEED" が表示されるまで、押し続ける。
③ 本体の [●AUTO REC CD ▶ MD] を、"AUTO REC" が表示されるまで、押し続ける。

高速録音の制限について

この製品の高速録音は、著作権保護を目的としたコピー管理システムを採用しているので以下の制限があります。

本機では、録音スタートから 74 分経過しないと、同じ曲を高速録音できません。

- 録音を途中で止めたときも、同じ曲を続けて高速録音できません。
- たとえば 20 分間で録音が終わったときは、あと 54 分間は、その曲を高速録音できません。（定速録音はできます。）

一度に 100 曲まで録音できます。

- 高速録音を始めて、74 分以内に 100 曲の録音が終了した場合、最初に高速録音を始めた時点から 74 分が経過するまで、101 曲目の録音はできません。
- 録音途中で 101 曲目になった場合、録音が終了します。

さらに高速録音しようとすると "PLEASE WAIT ○○ min." (○○は数字) が表示されます。
この場合は、○○分 (○○は数字) 経過してから高速録音してください。

CD 1 枚を MD に丸録り

お知らせ

- "LP2" または "LP4" を選んでいる場合、録音されたトラック全部をひとつのグループとして扱います。ただし、UTOC エリアに空きがない場合はグループになりません。
- MD に 1 曲以上録音できても全曲の録音ができない場合、"REMAINING SHORT" と表示されます。この表示中に、[■ STOP] を押すと丸録りをキャンセルできます。SP/LP2/LP4 のモードを変えることで丸録りができる場合があります。
- WMA/MP3 を丸録りした場合は、全曲の録音ができない場合でも "REMAINING SHORT" と表示されず、そのまま録音します。

CD 1 枚をテープに丸録りする

入力を CD に切り換え、CD 1 枚をテープに録音します。

CD → テープ

CD ▶ TAPE
● AUTO REC

"AUTO REC"が表示されるまで押し続ける

AUTO REC
CD→TAPE

- 自動的にテープを巻き戻し、約 10 秒間、無音で録音した後、1 曲目から録音が始まります。（テープのおもて面から始まります。）
- リバースモードは自動的にになります。

CD 1 枚を MD とテープに同時録音する

CD → MD **CD → テープ**

1 CD ▶/❚❚ **押して"CD"を選び**

CANCEL ■ **押す**

2 SHIFT **押しながら** CD▶MD&TAPE ●REC **押す**

CD→MD&TAPE

録音が始まります。

- テープは自動的に巻き戻されません。必要ならあらかじめ巻き戻しておいてください。

本体で同時録音する

① 本体の [CD ▶/❚❚] を押して "CD" を選び、[■ STOP] を押す。
② 本体の [●AUTO REC CD ▶ TAPE] と [●AUTO REC CD ▶ MD] を同時に、"CD → MD & TAPE" が表示されるまで押し続ける。

CD 1 枚をテープに丸録り

お知らせ

- おもて面の最後で曲が途切れた場合は、うら面にその曲を初めから録音します。
- テープの途中から録音したい場合は、録音を始めたい場所までテープをすすめて、通常の録音操作 (➡ 33 ページ) をしてください。

CD 1 枚を MD とテープに同時録音

お知らせ

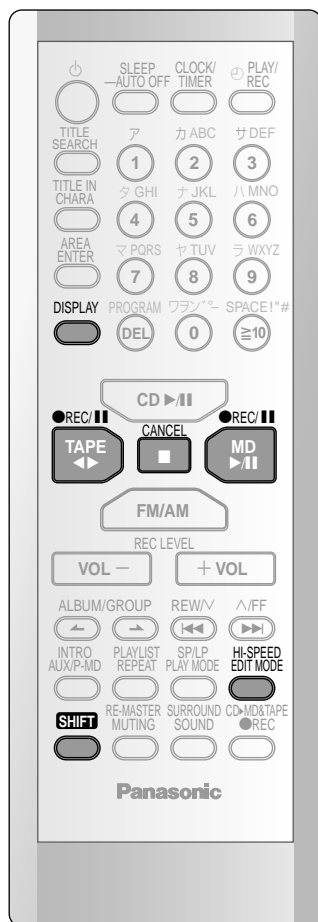
- MD・テープ、どちらか片方の残り時間がなくなっても、もう一方は録音を続けます。

共通の準備

MD に録音

① 録音用 MD を入れる。
② 必要に応じて SP/LP2/LP4 のいずれかのモードを選ぶ。（➡ 31 ページ）

テープに録音

① 録音用テープを入れる。
② 必要に応じてテープのリバースモードを選ぶ。（➡ 33 ページ）

ラジオを MD に録音する

ラジオ→ MD

共通の項目

途中で止める
[■ CANCEL] を押す。

MD の残り時間を知る
[DISPLAY] を残り時間表示になるまで数回押す。

ラジオを MD に録音

一時停止する
[SHIFT] を押しながら、[MD ▶/II ● REC/II] を押す。
トラックマークが付きます。
（再開するには、もう一度、同じ操作を行う）

お知らせ

● エリアバンクで記憶させた放送局を録音すると、放送局が曲の名前（トラックタイトル）として記録されます。

ラジオをテープに録音する

ラジオ→テープ

1 **ラジオ（またはテレビ）放送を受信する**
（➡ 27 ページ）

2
押しながら
押す

FM→TAPE

録音が始まります。

MD をテープに録音する

MD → テープ

1
押して“MD”を選び

押す

2 SHIFT **押しながら**
押す

MD→TAPE

録音が始まります。

テープを MD に録音する

テープ → MD

1
押して“TAPE”を選び

押す

2 HI-SPEED EDIT MODE **押して録音モードを選ぶ**
（➡ 下記「録音モード」）

MANUAL

押すたびに
MANUAL ⇄ TIME MARK

3
押しながら
押す

TAPE→MD

録音が始まります。

録音モード（MD に録音時）

ソースやつないだ機器によって選択できる録音モードは異なります。

MANUAL（マニュアル）	通常の録音モードです。録音中に好みの位置で [EDIT MODE] を押すと “TR-MARKING” と表示され、その時点にトラックマークが付きます。
TURN BACK（ターンバック）	頭切れを防ぐために、数秒前から録音するモードです。
TIME MARK（タイムマーク）	5 分おきにトラックマークが自動的に付くモードです。
TURN/TIME（ターンタイム）	数秒前の音から録音し、5 分おきにトラックマークが自動的に付くモードです。
SYNCHRO（シンクロ）（➡ 53 ページ）	接続した機器の再生が始まると、自動的に録音も始まるモードです。 無音の状態が約 3 秒続くと録音が一時停止し、再生が再開すると録音も再開します。 録音開始位置に自動的にトラックマークが付きます。

トラックマーク（➡ 55 ページ）の付けかた

録音中に好みの位置で [EDIT MODE] を押すと “TR-MARKING” と表示され、その時点にトラックマークが付きます。

ラジオをテープに録音

一時停止する
[SHIFT] を押しながら、[TAPE ◀▶ ● REC/❚❚] を押す。
（再開するには、もう一度、同じ操作を行う）

MD をテープに録音

一時停止する
[SHIFT] を押しながら、[TAPE ◀▶ ● REC/❚❚] を押す。MD は一時停止し、テープは録音待機状態になります。（再開するには、もう一度、同じ操作を行う）

テープを MD に録音

一時停止する
[SHIFT] を押しながら、[MD ▶/❚❚ ● REC/❚❚] を押す。
トラックマークが付きます。
（再開するには、もう一度、同じ操作を行う）

共通の準備

CD

CD トレイを開き CD を入れる。

MD に録音

① 録音用 MD を入れる。
② 必要に応じて SP/LP2/LP4 のいずれかのモードを選ぶ。（➡ 31 ページ）

テープに録音

① 録音用テープを入れる。
② 必要に応じてテープのリバースモードを選ぶ。（➡ 33 ページ）

好みの曲を予約順に録音する（プログラム録音）

CD → MD　CD → テープ　MD → テープ

2 録音したい曲を予約する（➡ 16 ページ）

録音が始まります。

1 曲をねらい録りする（1 トラック録音）

2 録音したい 1 曲を選ぶ（➡ 17 ページ）

録音が始まります。

共通の項目

途中で止める
[■ CANCEL] を押す。

MD の残り時間を知る
[DISPLAY] を残り時間表示になるまで数回押す。

1 トラック録音

解除する
停止中に、[PLAY MODE] を数回押して "1-TRACK" を消す。

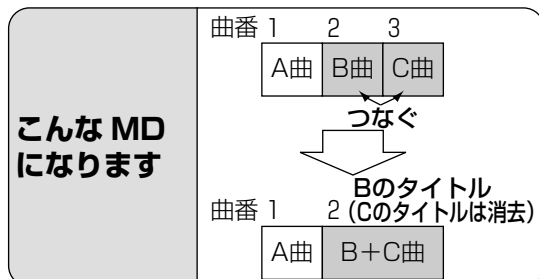
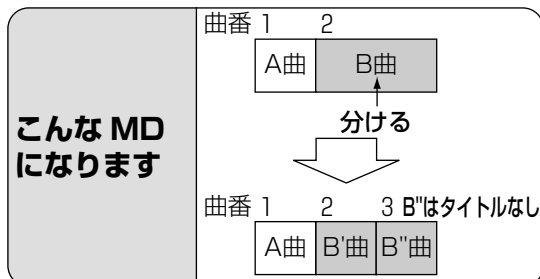
MD に高速録音する
① 手順 **1** から **2** を行います。
② 高速録音を行います。（➡ 34 ページ）

MD を編集する

曲順を入れ替えたり、不要な部分を削除して、自分だけのオリジナル MD が作れます。(録音用 MD のみ)
グループ編集 (➡ 22 ページ) を行った MD で編集作業を行うと、編集内容に応じて、グループ情報も自動的に更新されます。

準備： ① 編集したい MD を入れる
② [MD ▶/❚❚] を押して、“MD” を選び、[■ CANCEL] を押す。

曲をつなぐ (コンバイン)

こんな MD になります

1 停止中に押して“COMBINE?”を選び

押す

2 押して つなげたい連続した曲の組み合わせを選び

3 押す

点滅後、編集が完了。

編集前の状態に戻す
ディバイド機能 (➡ 右記) をお使いください。
コンバインは、つなげたい後ろの曲の再生中でもできます

曲を分ける (ディバイド)

こんな MD になります

1 分ける曲の再生中に押して“DIVIDE?”を選ぶ

2 おおよその分けたい位置で押す

押した位置から約 4 秒間までを、くり返し再生します。

3 押して正確な位置を調整する

調整範囲 SP ：前後約 8 秒間
LP2：前後約 16 秒間
LP4：前後約 32 秒間
数値は −128 から +127 の範囲で表示されます。

4 押す

UTOC Writing

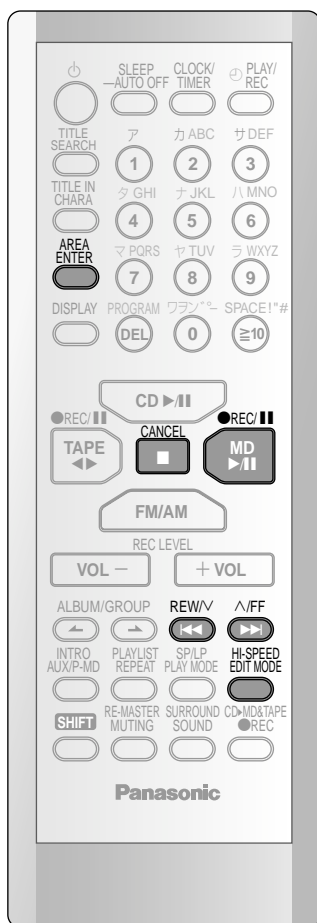
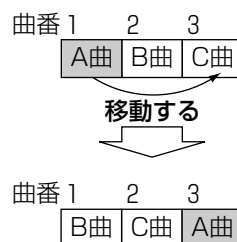
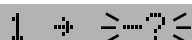
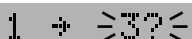
点滅後、編集が完了。
(分けた位置にトラックマークが 1 つ増えます。)

編集前の状態に戻す
コンバイン機能 (➡ 左記) をお使いください。

録音
使いこなす

● コンバイン ● ディバイド
● 1 曲をねらい録りする
● 好みの曲を予約順に録音する

曲を移動する（ムーブ）

ムーブは再生中でもできます

共通の項目

途中で止める
[■ CANCEL] を押す。

1 曲または数曲を消す（トラックイレース）

こんな MD になります

1 HI-SPEED EDIT MODE

停止中に押して"TRACK ERASE?"を選び

TRACK ERASE?

押すたびに
TRACK ERASE? → ALL ERASE? → MOVE? → COMBINE? → TITLE ST.? → GROUP? → TRACK ERASE?

AREA ENTER

押す

ERASE -?

2 REW/∨

押して消したい曲番を選び

または

∧/FF

選んだ曲の演奏時間

MD 2 3:22
ERASE 2?

選んだ曲

AREA ENTER

押す

続けて曲を消す場合は、この操作をくり返す
1 度に最大 24 曲まで消すことができます。

最後に選んだ曲　選んだ曲の総数

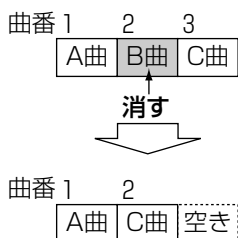
MD 5 ---04
ERASE 5 ?
↕
PRESS ENTER

3 AREA ENTER

押す

UTOC Writing

点滅後、編集が完了。

トラックイレースは再生中でもできます

全曲を消す（オールイレース）

こんな MD になります

1 HI-SPEED EDIT MODE

停止中に押して"ALL ERASE?"を選び

ALL ERASE?

押すたびに
TRACK ERASE? → ALL ERASE? → MOVE? → COMBINE? → TITLE ST.? → GROUP? → TRACK ERASE?

AREA ENTER

押す

ALL ERASE ?
↕
PRESS ENTER

2 AREA ENTER

押す

UTOC Writing

"BLANK DISC" になり、編集が完了します。

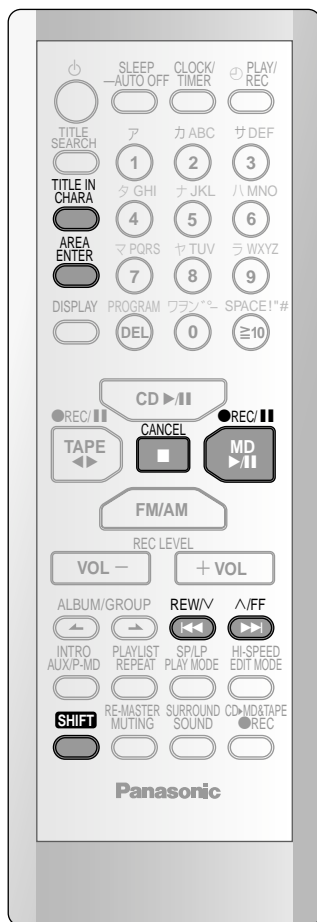
MD にタイトルを付ける

共通の準備

① **編集したい MD を入れる。**

② [●REC/❚❚ MD ▶/❚❚] **押して"MD"を選び**

▼

[CANCEL ■] **押す**

録音済み MD にタイトル（ディスク・トラック）を付ける

トラックタイトル　ディスクタイトル

"DISC? TITLE" を選ぶとディスクタイトル入力待機画面になります。

4 **タイトルを入力する**（➡ 45 ページ）

点滅後、タイトル入力が完了。

ディスクタイトルを入力した場合

トラックタイトル入力画面が表示されます。続けて入力する場合は、上記手順 **2** より行う。

トラックタイトルを入力した場合

次のトラックタイトル入力待機画面が表示されるので、くり返し必要なタイトルを入力する。すべてのトラックタイトルの入力が終わると、ディスクタイトルの入力待機画面が表示されます。続けて入力する場合は、上記手順 **3** より行う。

タイトル入力が完了します。

共通の項目

途中で解除する

[SHIFT] を押しながら [TITLE IN] を押す。
入力が解除されます。
ただし、すでに [ENTER] を押して確定したタイトルは残ります。もう 1 度 [SHIFT] を押しながら [TITLE IN] を押して最初からタイトル入力・修正できます。

お知らせ

● MD の名前（ディスクタイトル）や曲の名前（トラックタイトル）は各 100 文字まで記録できます。
LP2/LP4 で録音した場合は、97 文字になります。

丸録り中にまとめてタイトルを付ける

LP2/LP4 モードで丸録り時(➡ 35 ページ)は、グループタイトルと全トラックタイトル、SP モードの場合は全トラックタイトルを付けることができます。

1 SHIFT **丸録り中に押しながら** TITLE IN CHARA **押す**

Ⓐ SP 丸録り時：
トラックタイトル入力画面になります。手順 **4** に進みます。

```
TITLE INPUT
↓
CD 1 →MD 1
↓
▊
```

Ⓑ LP2/LP4 丸録り時：
グループタイトル入力画面になります。

```
G 1 TITLE
↓
▊
```

2 **グループタイトルを入力する**
(➡ 45 ページ)

3 AREA ENTER **押す**
トラックタイトル入力画面になります。

```
CD 1 →MD 1
↓
▊
```

4 **トラックタイトルを入力する**
(➡ 45 ページ)
タイトルを入力しなくても [ENTER] を押すと次のタイトルに進みます。

5 AREA ENTER **押す**
手順 **4** と **5** を繰り返します。
すべてのトラックタイトルの入力が終わると、“TITLE WRITE” と表示され、通常の表示に戻ります。

MD を再生中またはシンクロ録音中にタイトルを付ける

1 SHIFT **再生中または録音中に押しながら** TITLE IN CHARA **押す**
トラックタイトル入力画面になります。

```
TR 1 TITLE
↓
▊
```

2 **タイトルを入力する** (➡ 45 ページ)

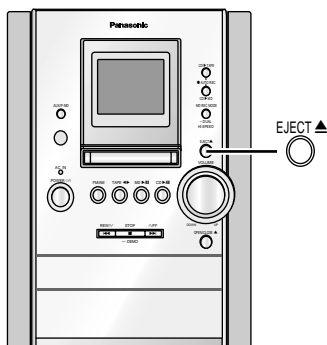
3 AREA ENTER **押す**
“TITLE WRITE” と表示された後、通常の表示に戻ります。

- WMA/MP3 を MD に録音した場合、MD のトラック名は、WMA/MP3 のファイル名が付きます。
- WMA/MP3 を丸録り中にタイトルを付けたい場合は、録音中の曲のみ、タイトルを付けることができます。
- CD を MD とテープに同時録音中にタイトルを付けたい場合は、録音中の曲のみ、タイトルを付けることができます。
- 入力中に録音/再生が終了した場合、入力状態は解除されます。ただし、すでに [ENTER] を押して確定したタイトルや入力途中の文字も含めたタイトルは記録されています。
- 再生中にタイトルを付けた後、文字入力以外の編集はできません。
一度、[■ CANCEL] を押して、“UTOC Writing” の点滅後に行ってください。

他の MD にタイトルをコピーする（タイトルステーション）

MD のディスク/トラックタイトルを別の MD にそのままコピーできます。

タイトルをコピーする前に

- コピー元とコピー先の MD の曲数が同じときだけコピーできます。
- 演奏専用 MD や、未録音の MD（BLANK DISC）は使用できません。
- すでにタイトルの入っている MD にタイトルをコピーすると、以前のタイトルはすべて消えます。

準備：
[MD ▶/II] を押して、"MD" を選び、[■ CANCEL] を押す。

1 コピー元の MD を入れる

本機がタイトルを記憶すると表示されます。

点滅後、タイトルのコピーが完了。

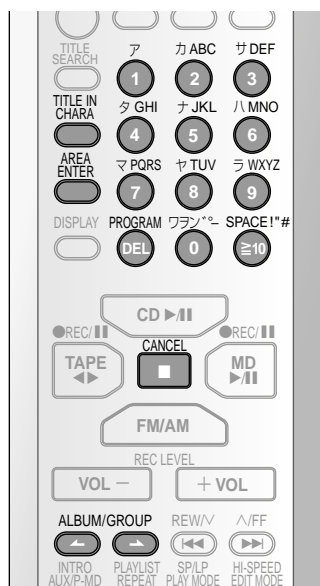
タイトルステーション

途中で解除する
[■ CANCEL] を押す。

お知らせ

- 本機が記憶できるタイトルは MD1 枚分で、電源を切ると記憶したタイトルは失われます。
- LP2/LP4 で録音された曲をコピー元として使った場合、コピー先の曲が SP で録音されていると、トラックタイトルの頭に "LP:" と表示されます。
- コピー元のディスクが、グループ管理されている場合、グループ管理情報もコピーされます。

文字入力のしかた

タイトル入力画面にした後、以下の方法で入力してください。
選んだ文字がカーソル部分に入力されます。

文字の種類と各ボタンに割り当てられた文字

各ボタンを押すたびに、1 文字ずつ順に表示されます。

	カタカナ	アルファベット		数字
		大文字	小文字	
	ア	A	a	1
ア 1	アイウエオ ァィゥェォ			1
カ ABC 2	カキクケコ	ABC	abc	2
サ DEF 3	サシスセソ	DEF	def	3
タ GHI 4	タチツテト ッ	GHI	ghi	4
ナ JKL 5	ナニヌネノ	JKL	jkl	5
ハ MNO 6	ハヒフヘホ	MNO	mno	6
マ PQRS 7	マミムメモ	PQRS	pqrs	7
ヤ TUV 8	ヤユヨ ャュョ	TUV	tuv	8
ラ WXYZ 9	ラリルレロ	WXYZ	wxyz	9
ワヲン゛゜− 0	ワヲンー			0

1 TITLE IN CHARA **押して文字の種類を選ぶ**

押すたびに

ア　A　a　1

カナ<ア>→英大<Ａ>→英小<ａ>→数字<１>

続けて同じ種類の文字を入力するときは、この操作は不要です。

2 **押して文字を選ぶ**

エディットアイ

エディットアイとカーソルに、選んだ文字が表示されます。

3 ALBUM/GROUP **押す**

文字が確定され、次の文字が入力できます。

入力を途中で止める

[■ CANCEL] を押す。
ただし、すでに [ENTER] を押して確定したタイトルは残ります。

゛゜ —を入力する

[0 ワヲン゛゜—] を数回押す。
濁点 (゛) や半濁点 (゜) は、表記可能なカタカナの後ろにだけ入力できます。

記号を入力する

[≧10 SPACE!"#] を押す。
押すたびに下の順序で記号が現れます。

␣ ! " # $ % & ' ( ) * + , – . / : ; < = > ? @ _ `

␣ は空白を表しています。

入力済みの文字を変更する

[◢ ALBUM/GROUP] [◣ ALBUM/GROUP] で変更する文字にカーソルを合わせる。

- **文字を訂正する**
  [DEL] を押して文字を消してから新しい文字を入力する。
- **文字を削除する**
  [DEL] を押す。

文字の間に新しい文字や空白を入れる

[◢ ALBUM/GROUP] [◣ ALBUM/GROUP] で挿入位置の右の文字にカーソルを合わせる。

- **文字を挿入する**
  新しい文字を入力して、[◣ ALBUM/GROUP] を押す。
- **1 文字あける**
  [≧10 SPACE!"#] を押して"空白"を選び [◣ ALBUM/GROUP] を押す。

時計を合わせる

本機の時計は 24 時間表示です。
例：16 時 25 分（午後 4 時 25 分）に合わせる。

準備：[⏻] を押して、電源を入れる。

1

CLOCK/TIMER

押して
“CLOCK – – : – –”を選ぶ

2

REW/∨ または ∧/FF

10 秒以内
押して
時計を合わせる

CLOCK 16:25

押し続けると時刻表示が連続して変化します。
元の表示に戻ったときは、手順 **1** からやり直してください。

3

AREA ENTER

押す

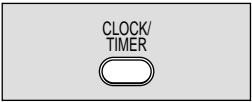
CLOCK 16:25

時計合わせが完了し、元の表示に戻ります。

時計を合わせる

時計を確認する
[DISPLAY] を時計が表示されるまで数回押す。

お知らせ

- 時計を合わせると、デモ機能は自動的に「切」になります。
- 時計の精度には若干の誤差があります。定期的な時刻補正をおすすめします。

おめざめタイマーを使う

設定した時刻に電源が入り、好みのソース（音源）を再生し、終了時刻になると自動的に電源が切れます。
時刻設定を 1 度しておくと、あとはソースの設定を変えるだけで使えます。

表示例：6：30 ～ 7：40 まで好みのソースを再生する場合
準備： ① 電源を入れる。② 時計を合わせせる。(➡ 左 ページ)

タイマー時刻設定（24 時間表示）

1

2 回押して
おめざめタイマー時刻設定画面にする

押すたびに
CLOCK → ⏲ PLAY → ⏲ REC →（元の表示）

2

10 秒以内
押して
開始時刻に合わせ

ON OFF
6:30 0:00

⬇
押す

3

押して
終了時刻に合わせ

ON OFF
6:30 7:40

⬇
押す

タイマー実行設定

4

ソースと音量を選ぶ
① ソースを再生し、

② 音量を調節し、

③ CD ・ MD ・テープは
再生を止める。

好みの曲を設定する
手順 **4** ① の前に好みの曲を予約する。
(➡ 16 ページ)

5

押して
“TIMER-PLAY” を選ぶ

PLAY
TIMER-PLAY

押すたびに
TIMER-PLAY → TIMER-REC MD REC → TIMER-REC TAPE REC → TIMER-OFF（解除）
（留守録タイマー設定時のみ）

6

押して
電源を切る
電源を切らないとタイマーが動作しません。

設定した時刻になると、設定した音量までフェードイン（徐々に大きく）して、再生します。
（動作中は、“⏲ PLAY” が点滅）

おめざめタイマーを使う

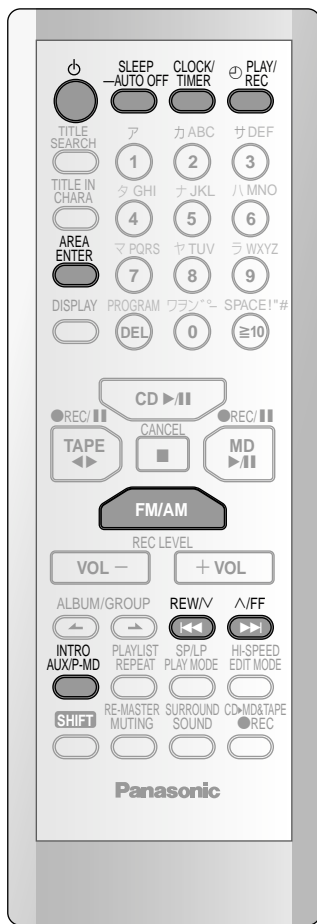
解除する
[⏲ PLAY/REC] を押して、“⏲ PLAY” を消す。

操作を間違えたり、設定した内容を変えるときは
① 電源を入れ、[⏲ PLAY/REC] を押して、“⏲ PLAY” を消す。
② 最初からやり直す。

別売り機器を使ったタイマー設定
[AUX/P-MD] を押して “AUX” にしたあと、接続した機器を本機と同時刻に動作するように設定してください。

タイマー設定した後に、演奏を楽しむ
① 電源を入れ、通常の再生操作をする。
② 再生後は、必ず電源を切る。
音量やソースを変更しても、設定内容には影響しません。

設定内容を確認する
電源「切」のときに [CLOCK/TIMER] を押す。

お知らせ
- おめざめタイマーと留守録タイマーは同時に使えません。
- タイマーは解除しない限り、毎日同時刻に動作します。

おやすみタイマーを使う

指定した時間が経過すると再生を停止し、自動的に電源が切れます。

オートオフを使う

CD、MD、テープの再生を停止し、ボタン操作がない状態が 10 分続くと、自動的に電源が切れます。

おやすみタイマーを使う

解除する

[SLEEP] を押して、“SLEEP OFF” を選ぶ。

残り時間を確かめる

[SLEEP] を 1 回押すと残り時間が表示されます。

残り時間を変える

[SLEEP] を押して、新たに時間を設定する。

お知らせ

- おやすみタイマーは、おめざめ/留守録タイマーと組み合わせて使えます。常におやすみタイマーが優先するため、組み合わせるときは、予約時間が重ならないようにしてください。

オートオフを使う

解除する

“AUTO OFF” が消えるまで、もう一度 [−AUTO OFF] を押し続ける。

お知らせ

- 一度設定しておくと、電源を切/入してもオートオフ機能が働きます。
- CD、MD、テープモードでのみ設定できます。

留守録タイマーを使う

設定した時刻に電源が入り、ラジオ放送を録音し、終了時刻になると自動的に電源が切れます。

表示例：18:30 ～ 20:00 まで好みの放送を録音する場合
準備： ① 電源を入れる。② 時計を合わせる。(➡ 46 ページ)　③ 録音用 MD（またはテープ）を入れる。

タイマー時刻設定（24 時間表示）

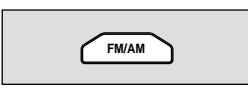
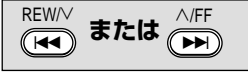
3 回押して
留守録タイマー時刻設定画面にする

押すたびに
CLOCK → ◴ PLAY → ◴ **REC** →（元の表示）

2

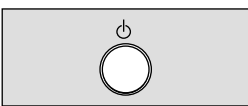
10 秒以内
押して
開始時刻に合わせ
⬇
押す

REC
ON OFF
18:30 18:30

3

押して
終了時刻に合わせ
⬇
押す

タイマー実行設定

放送局を受信する
(➡ 27 ページ)
① “FM” または “AM” を選び、

REW/∨ または ∧/FF

② 周波数、またはチャンネルを合わせる。

MD に録音する場合は必要に応じて下記を設定します。
- SP/LP2/LP4 モード (➡ 31 ページ)
- 録音レベル (➡ 50 ページ)
- 録音モード (➡ 37 ページ)

設定した時点での内容が記憶されます。

5

◴ PLAY/REC

押して
“MD REC” または “TAPE REC” を選ぶ

REC
TIMER-REC
MD REC

押すたびに
TIMER-PLAY（おめざめタイマー設定時のみ） → TIMER-REC MD REC → TIMER-REC TAPE REC
TIMER-OFF（解除）

6

押して
電源を切る
電源を切らないとタイマーが動作しません。

- 頭切れ防止のため、設定した時刻の 30 秒前になると、タイマー動作が始まります。（動作中は、“◴ REC” が点滅）
- 録音時、音量は自動的に最小になります。

留守録タイマーを使う

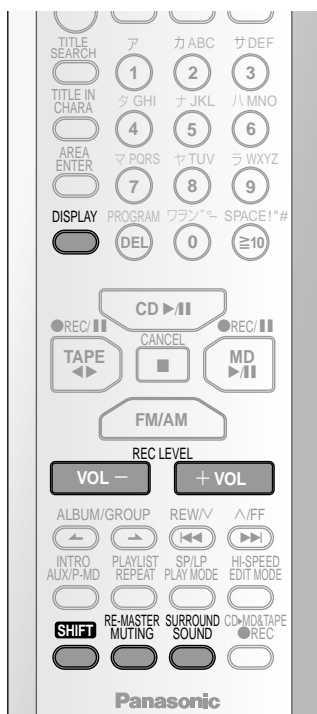
解除する
[◴ PLAY/REC] を押して、“◴ REC” を消す。

操作を間違えたり、設定した内容を変えるときは
① 電源を入れ、[◴ PLAY/REC] を押して、“◴ REC” を消す。
② 最初からやり直す。

別売り機器を使ったタイマー設定
[AUX/P-MD] を押し、“AUX” にしたあと、接続した機器を本機と同時刻に動作するように設定してください。

タイマー設定した後に演奏を楽しむ
① 電源を入れ、通常の再生操作をする。
② 再生後は、必ず電源を切る。
音量やソースを変更しても、設定内容には影響しません。

設定内容を確認する
電源「切」のときに [CLOCK/TIMER] を押す。

お知らせ
- おめざめタイマーと留守録タイマーは同時に使えません。
- タイマーは解除しない限り、毎日同時刻に動作します。

一時的に消音する（ミューティング）

電話がかかってきたときなどに便利です。

RE-MASTER MUTING **押す**

MUTING

解除するには、もう一度押して、“MUTING”を消す。

[VOL －] を押して “0” にしたり、電源を切っても解除されます。

WMA/MP3 をより自然な音質で聞く（リ. マスター）

圧縮時に失われた高域信号を再現し、圧縮前の音声に近づけます。

 SHIFT **押しながら** RE-MASTER MUTING **押す**

RE-MASTER

解除するには、もう一度 [SHIFT] を押しながら [RE-MASTER] を押す。

録音中、リ. マスターは変更できません。

音に臨場感を与える

SHIFT **押しながら** SURROUND SOUND **押す**

THEATER S.

押すたびに
MUSIC S.→ THEATER S.→ SURR OFF

MUSIC S.：(ミュージックサラウンド)	音楽に自然な臨場感を与えます。
THEATER S.：(シアターサウンド)	映画音声に臨場感を与えるとともにセリフが聞きとりやすくなります。
SURR OFF：	音場効果を使いません。

時間やタイトルなどの情報を見る（ディスプレイ）

DISPLAY **押す**

押すたびに、いろいろな情報が表示されます。
表示される内容は、現在行っている操作やソース（音源）などによって異なります。

録音レベルを調整する

MD に録音して、音量に不足を感じる場合などに使用します。

1 **録音元のソースを再生する**
（CD、テープ、ラジオ、別売り機器）

2 SHIFT **押しながら**   REC LEVEL VOL － ＋VOL **押す**

±10 dB の範囲で調整できます。

LEVEL -3dB

入力レベル　上限ポイント

曲中の最大音量のときに入力レベルが上限ポイントを超えないように調整します。

録音レベルを調整する

お知らせ

- 録音レベルを調整しているとき、スピーカーから聞こえる音は変化しません。
- 電源を切ると録音レベルは “0 dB” に戻ります。
- 録音レベル調整のボタン操作のない状態が約 10 秒間続くと元の表示に戻ります。
- 上限ポイントを超えると、音がひずんで録音されることがあります。

好みの音質を楽しむ
（イコライザー）

“PRESET EQ”と“MANUAL EQ”の２種類があります。

PRESET EQ を使う

1 SURROUND SOUND

“PRESET EQ”が表示されるまで押し続ける

PRESET EQ
EQ-ON

押し続けるたびに
MANUAL EQ ⇆ PRESET EQ

2 SURROUND SOUND

押して好みの音質を選ぶ

EQ → Heavy

押すたびに
Heavy ：　ロックなど、パンチを効かせるとき
Clear ：　ジャズなど、高音部を鮮明にするとき
Soft ：　BGM として聞くとき
Vocal ：　ボーカルにつやを出したいとき
OFF ：　音質効果を使わないとき

お買い上げ時の設定は “Heavy” です。

MANUAL EQ を使う

BASS（低域）とTREBLE（高域）の調整が行えます。

1 SURROUND SOUND

“MANUAL EQ”が表示されるまで押し続ける

MANUAL EQ

押し続けるたびに
MANUAL EQ ⇆ PRESET EQ

2 SURROUND SOUND

押して“BASS”（低域）または“TREBLE”（高域）を選ぶ

BASS　0

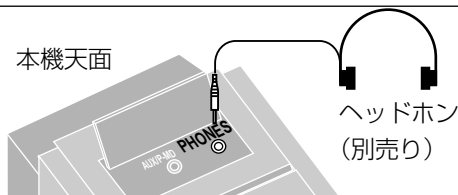
押すたびに
BASS → TREBLE →（元の表示）

3 VOL −
または
＋VOL

“BASS”または“TREBLE”表示中に押してレベルを調整する

BASS　+1

±４段階ずつ調整できます。

ヘッドホンで聞く

● 接続するときは、音量を下げてください。
● 耳を刺激するような大きな音量で長時間聞くことは避けてください。
● プラグタイプ：ステレオミニ（M3）
● 推奨品：　RP-HT530、RP-HT242（ともに別売り）

別売り品の品番は、2003 年４月現在のものです。品番は変更されることがあります。

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。特に静かな夜間には窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。

音のエチケット
シンボルマーク

別売り機器を使う

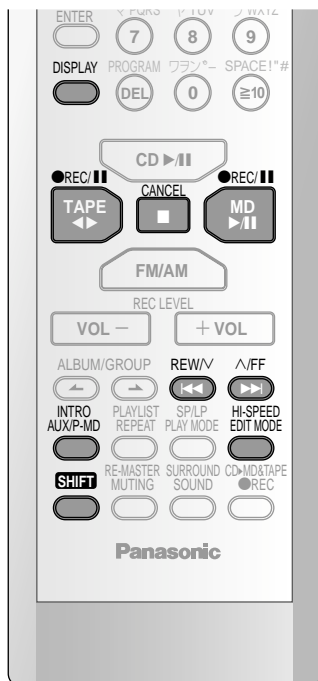
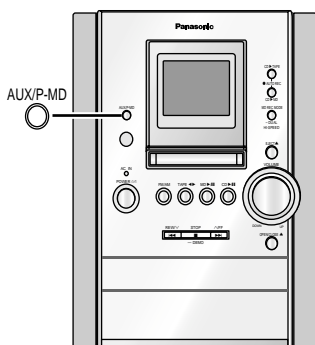
別売り品の品番は、2003 年 4 月現在のものです。品番は変更されることがあります。

共通の準備

MD に録音

① 本機に録音用 MD を入れる。
② 必要に応じて SP/LP2/LP4 のいずれかのモードを選ぶ。(➡ 31 ページ)

テープに録音

① 本機に録音用テープを入れる。
② 必要に応じてテープのリバースモードを選ぶ。(➡ 33 ページ)

共通の項目

停止する

[■ CANCEL] を押す。

ソース(音源)や録音方法によっては録音時間に誤差が生じる場合があります。

MD の残り時間を知る

[DISPLAY] を残り時間表示になるまで数回押す。

別売り機器をつなぐ

電源を切った状態で接続してください

アナログプレーヤーを接続する

フォノイコライザー内蔵のプレーヤーが必要です。

推奨品：当社製アナログプレーヤー
SL-J8(フォノイコライザー内蔵)

お手持ちのアナログプレーヤーがフォノイコライザー内蔵でないときは、フォノイコライザー(サービスルート扱い：品番 RFKZ0088KIT)が必要です。
そのままつなぐと音が小さくなります。

MD ネットワーク機能について

カタログにこのマークが付いている製品です。

- MD ネットワーク対応の MD ステレオシステムどうしをつないでも、この機能は働きません。
- MD ネットワーク機能は、タイマーと組み合わせて使うことはできません。
- SP/LP2/LP4 の各モードはコピーされません。本機で選んでいるモードになります。
- MD ネットワーク機能で録音終了後、ポータブル MD プレーヤーは節電のため、約 4 分後に自動的に電源「切」になります。(点滅表示になります。再び通信確立するには [AUX/P-MD] を押してください。)
- 録音が終わったら電池の消耗を防ぐためコードを抜いてください。
- 以下の場合、ディスクタイトルはコピーされません。
  － ディスクタイトルが付いている MD に録音する。
  － 1 曲ずつ録音する。
  － コピー先にグループ管理情報が入っている。

MD ネットワーク機能で MD から MD に録音

全曲録音、曲を選んでの録音、タイトルコピーが簡単にできます。

MDネットワーク対応の
ポータブルMDプレーヤー

1

INTRO AUX/P-MD

押して"P-MD"を選ぶ

P-MD (12Tr)

ポータブル MD 側の総曲数

押すたびに
AUX（一般の外部機器）
↓↑
P-MD（MD ネットワーク対応の機器）

ディスクタイトルが付いているときはタイトルも表示されます。

ポータブル MD 側は、自動的に、適切な音量・フラットな音質に設定されています。

2

全曲録音する

SHIFT **押しながら** ●REC/❚❚ MD ▶/❚❚ **押す**

P-MD 1Tr

曲番

自動的に録音が始まります。
全曲の録音が終わると、自動停止します。

1 曲ずつ録音する

REW/∨ ⏮ **または** ∧/FF ⏭ **押して曲番を選び**

確認の意味で、選んだ曲が自動的に再生されます。

SHIFT **再生が始まってから押しながら** ●REC/❚❚ MD ▶/❚❚ **押す**

自動的に曲の始めに戻って、録音が始まります。
1 曲の録音が終わると、自動停止します。

MD ネットワーク機能でビジュアル/タイトルプリンター（対応品： SH-CP30（別売り））を使う

MD に付いているタイトルを元にして、MD のラベルを印刷できます。
[MD ▶/❚❚] を押して "MD" を選び [■ CANCEL] を押す。AUX/P-MD 端子に接続する。
くわしくはビジュアル／タイトルプリンターの説明書をお読みください。

別売り機器を本機で再生/MD・テープに録音

一般的なポータブル MD プレーヤー

別売り機器
- アナログプレーヤー
- テレビなど

準備：テレビ、有線放送、CS/BS チューナーの場合は好みの放送局を受信する。

再生の場合は手順 1、5 を行います。

1

AUX/P-MD

押して"AUX"を選ぶ
押すたびに
AUX（一般の外部機器）
↓↑
P-MD（MD ネットワーク対応の機器）

2

本体のみ

AUX/P-MD

押し続けて、入力レベルを選ぶ
NORMAL:レベルを変えないとき
↓↑
HIGH: レベルを上げたいとき（ポータブル MD など信号レベルの低い機器）

3

MD に録音

HI-SPEED EDIT MODE

押して録音モードを選ぶ
（➡ 37 ページ「録音モード」）

MANUAL（マニュアル） → SYNCHRO（シンクロ） → TURN BACK（ターンバック）
↑ ↓
TURN/TIME（ターンタイム） ← TIME MARK（タイムマーク）

4

MD に録音

SHIFT **押しながら** ●REC/❚❚ MD ▶/❚❚ **押す**

- MANUAL、TIME MARK モード
  録音が始まります。
- TURN BACK、TURN/TIME モード
  録音待機状態になります。もう 1 度 [SHIFT] を押しながら [MD ▶/❚❚ ●REC/❚❚] を押すと録音が始まります。
- SYNCHRO モード
  一時停止状態になります。別売り機器から信号が入ると、自動的に録音が始まります。

テープに録音

SHIFT **押しながら** ●REC/❚❚ TAPE ◀▶ **押す**

録音が始まります。

5

別売り機器を再生する

別売り機器を本機で再生/MD・テープに録音

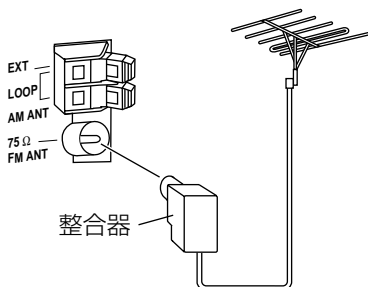
録音レベルを調整する
- 一般的なポータブル MD プレーヤーから録音する場合は、まずポータブル MD 側で音量を調節する。
- MD に録音する場合は、必要に応じてソース（音源）を再生して録音レベルを調整する。（➡ 50 ページ）

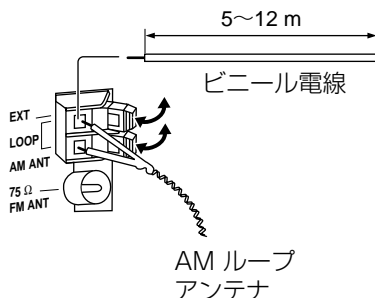
お知らせ
- テレビ、有線放送、CS/BS チューナーなどの放送局を録音するときや、録音する曲の種類によっては、SYNCHRO 録音モードを使うと、曲の最初の部分が録音されなかったり、レベルの低い曲では途中で止まったりすることがあります。この場合は、MANUAL モードで録音してください。

屋外アンテナの接続

山間部や鉄筋ビルの中など、電波の弱いところでは必要です。

FM（テレビアンテナの利用）

アンテナ線（同軸ケーブル）を整合器（市販）に取り付けて、後面に接続します。
付属の FM 簡易型アンテナは取りはずします。

AM（市販のビニール電線）

付属の AM ループアンテナは取りはずさないで、いっしょにつないでおきます。
窓際などに、水平に設置します。

お手入れ

■本機が汚れたら

柔らかい布でふいてください。
ひどい汚れは、薄めた台所用洗剤（中性）を含ませた布でふき、後はからぶきしてください。

- アルコールやシンナーは使わないでください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

■CD、MD を良い音でお楽しみいただくために

別売りの専用クリーナーで時々清掃されることをおすすめします。

推奨品：
CD レンズクリーナー（品番 RP-CL510）
MD レンズクリーナー（品番 RP-CL310）
MD 録音ヘッドクリーナー（品番 RP-CL320）

■テープを良い音でお楽しみいただくために

定期的に市販のクリーニングテープを使って、清掃されることをおすすめします。

著作権について

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
なお、デジタル録音機器の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれております。

お問合せ先：（社）私的録音補償金管理協会
☎ 03-5353-0336

- 放送やレコードその他の録音物（ミュージックテープ、カラオケテープなど）の音楽作品は、音楽の歌詞、楽曲などと同じく、著作権法により保護されています。
- 従って、それらから録音した MD やテープを売ったり、配ったり、譲ったり、貸したりする場合、および営利（店の BGM など）のために使用する場合には、著作権法上、権利者の許諾が必要です。
- 使用条件は、場合によって異なりますので、詳しい内容や申請、その他の手続きについては、「日本音楽著作権協会」（JASRAC）の本部または最寄りの支部にお尋ねください。

日本音楽著作権協会

本部	☎ (03) 3481-2121	静岡支部	☎ (054) 254-2621
北海道支部	☎ (011) 221-5088	中部支部	☎ (052) 583-7590
盛岡支部	☎ (019) 652-3201	北陸支部	☎ (076) 221-3602
仙台支部	☎ (022) 264-2266	京都支部	☎ (075) 251-0134
長野支部	☎ (026) 225-7111	大阪支部	☎ (06) 6244-0351
大宮支部	☎ (048) 643-5461	神戸支部	☎ (078) 322-0561
上野支部	☎ (03) 3832-1033	中国支部	☎ (082) 249-6362
東京支部	☎ (03) 3562-4455	四国支部	☎ (087) 821-9191
西東京支部	☎ (03) 3232-8301	九州支部	☎ (092) 441-2285
東京イベントコンサート支部	☎ (03) 5286-1671	鹿児島支部	☎ (099) 224-6211
立川支部	☎ (042) 529-1500	那覇支部	☎ (098) 863-1228
横浜支部	☎ (045) 662-6551		

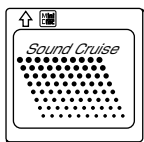
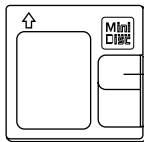
Windows Media、Windows ロゴは米国その他の国で米国 Microsoft Corporation の登録商標または商標になっています。
WMA（Windows Media™ Audio）とは米国 Microsoft Corporation で開発された圧縮フォーマットです。これにより MP3 より小さいファイルサイズで同等の音質が実現できます。

HighMAT、HighMAT ロゴは、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

MPEG Audio Layer３音声圧縮技術は、Fraunhofer IIS および THOMSON multimedia からライセンスを受けています。

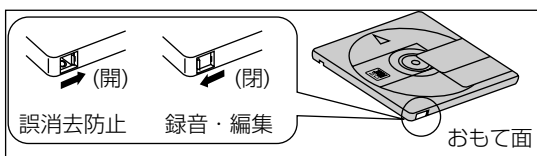
MD について

MD の種類

■演奏専用 MD
録音できません。
ピットという小さなくぼみの有無でデータが記録されています。この方式の MD を「光ディスク」といいます。

■録音用 MD
磁気によってデータを記録します。この方式の MD を「光磁気ディスク」といいます。

MD の録音・編集について

■テープとは違います
録音済みの MD は、自動的に前の録音部分の続きから録音しますので、テープのように無録音部分を探す必要はありません。
ディスクがいっぱいになったときは、イレース（消去機能）で、いらない曲を消してから録音します。（上書き録音はできません）

■MD 1 枚への録音曲数は 、収録時間内で最大 254 曲までです。
ただし、MD は 2 秒以下の音声を録音する場合にも約 2 秒間の領域を使用するため、実際に録音できる時間は少なくなることがあります。

■大切な録音を消さないために
MD の誤消去防止つまみを、穴が開く方向へずらします。新たに録音、編集するときは閉じてください。

■ デジタル録音の制限について
デジタル接続での録音には、SCMS（シリアル・コピー・マネージメント・システム）という制限があります。
CD などから MD にデジタル録音すると、信号劣下の少ないクリアな録音が得られます。そこで、著作権保護のため、この MD から、さらに別の MD へはデジタル録音できないようになっています。（“コピーのコピー”の禁止。）
なお、アナログ録音には、このような制限はありません。

■録音、編集時のお願い
録音や編集、タイトル入力を行っているときは、機器を振動させたり、電源コードを抜いたりしないでください。“UTOC”点灯中または“UTOC Writing”の点滅中に電源が切れたり、振動があると、録音・編集・タイトル入力が MD に正しく記録されません。

よく出てくる MD 用語

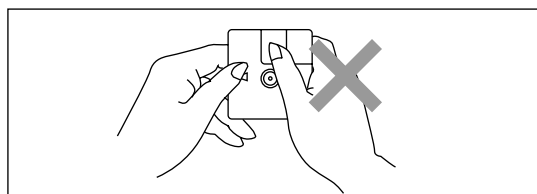
■トラックマーク
録音部分に記録される“区切り”のことです。ある区切りから次の区切りまでが 1 曲と数えられます。トラックマークは録音時に自動的に記録されたり、自分で自由に付けることもできます。
トラックマークを入れることで、1 枚の MD に最大 254 曲まで記録することができます。

■TOC（トック）(Table of Contents)
MD には、音声信号を記録する領域とは別に、曲数や再生時間などを記録する領域があり、そこに書き込まれた内容を TOC 情報といいます。

■UTOC（ユートック）(User Table of Contents)
利用者が自由に書き換えられる TOC です。入力した文字や、編集した結果などを記録します。
MD に UTOC 情報が書き込まれているとき、“UTOC Writing”と表示され注意を促します。

■MARKING（マーキング）
録音中にトラックマークを記録することです。
本機が曲の変わり目を判断してマーキングします。

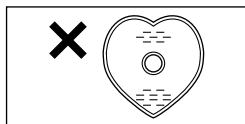
取扱上のお願い

- 指定外の場所にラベルを貼らない
（また、ラベルやテープの糊がはみ出したり、はがした跡のある MD は、故障の原因になりますので機器に入れないでください。）
- シャッターは開かない
（万一開いてしまったときは、すぐに閉じてください。中の円盤には、直接手を触れないでください。）

MD の制約について

症　状	原　因
コンバイン/ディバイド機能が使えないことがある。	部分録音/部分消去をくり返した MD に録音すると、MD 上のデータとしては分断されて記録されるため、左記のようなことが起こる場合があります。また、SP/LP2/LP4 の異なるモードで記録された曲ではコンバインできません。
曲を消しても残り時間が増えない。	
早送り/早戻しすると、音の途切れることがある。	

CD について

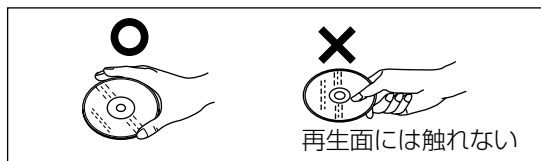
のマークが入ったものをご使用ください。

ただし、ハート型など、特殊形状の CD はご使用にならないでください。(機器の故障の原因になります)

上記ロゴマークの入ったものなど、規格に合致したディスクをご使用ください。規格外ディスクを使用すると、正しく再生できない場合があります。

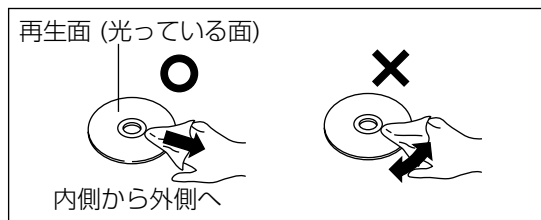
■CD-R と CD-RW の再生について

CD-DA、WMA または MP3 フォーマットで記録された CD-R と CD-RW 再生に対応しています。CD-DA フォーマットの場合は音楽用ディスクを使用し、録音終了時にファイナライズ※が必要です。ただし、記録状態によって再生できない場合があります。

※ 音楽用 CD-R/CD-RW 再生対応機器で再生できるように処理すること。

■持ちかた

■汚れたときは

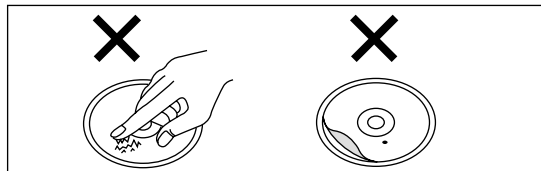
水を含ませた柔らかい布でふき、あとはからぶきしてください。

推奨品：クリーニングクロス　VUA7091
（サービスルート扱い）

■ 露がついたら

急に暖かい室内に持ち込んだときなど、露がついた場合は、乾いた柔らかい布でふいてください。

取扱上のお願い

CD そのものの破損の原因となるほか、機器の故障の原因ともなりますので、次のことをお守りください。

- 鉛筆やボールペンなどで字を書かない
- レコードクリーナーやシンナー、ベンジン、アルコールでふかない
- 紙やシール、ラベルを貼らない
- 傷つき防止用のプロテクターなどは使わない
- シールやラベルがはがれたり、のりがはみ出している CD は使わない

- 市販のラベルプリンターでディスク面に印刷した CD は使わない

テープについて

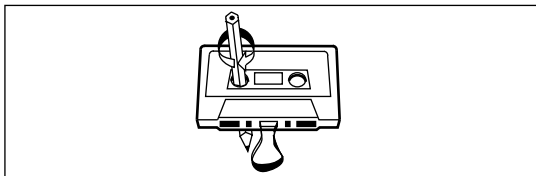
■100 分を越えるテープ

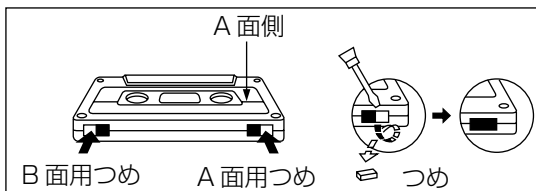
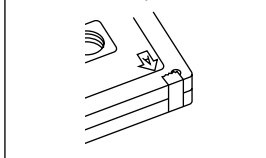
テープが薄いため、こきざみな走行、停止、早送り、巻戻しをくり返さないでください。(回転部に巻き込まれることがあります)

■エンドレステープはオートリバース対応のものを

使用方法を誤ると、テープが回転部に巻き込まれます。必ずテープに付いている使用説明をお読みください。

■テープのたるみは巻き取ってください

テープに傷が付いたり、切れたりする原因になります。

■録音したテープを誤って消さないために

ドライバーなどで、つめを折り取ってください。

もう一度録音するにはセロハンテープなどを貼ってください。

■ 録音を消して無音テープを作るには

① [TAPE ◀ ▶] を押して、“TAPE” を選び [■ CANCEL] を押す。
② テープを入れる。
③ [PLAY MODE] を押して、リバースモードを選ぶ。
④ [SHIFT] を押しながら、[TAPE ◀ ▶ ● REC/❚❚] を押す。

取扱上のお願い

テープが取り出せなくなったり、音質が損なわれる場合がありますので、次のことをお守りください。

- テープに付属している以外のシール（特に厚みのあるシール）を貼らない
- 指定以外の場所にシールを貼らない

保管(MD・CD・テープ)

■次のような場所に置かない

- 直射日光の当たる場所
- 湿気やほこりの多い場所
- 暖房器具の熱が直接当たる場所

Q & A(よくあるご質問)

	Q(質問)	A(回答)	参照ページ
他の機器との接続	手持ちのアナログプレーヤーをつなぎたい	天面の「AUX/P-MD」端子に接続します。 現在アンプの「フォノ」または「プレーヤー」端子に接続している場合は、フォノイコライザーアンプ(サービスルート扱い 品番:RFKZ0088KIT)が必要です。そのままつなぐと、音が小さくなります。	52
	テレビをつなぎたい	天面の「AUX/P-MD」端子に接続します。 音声のみ本機でお楽しみいただけます。	
	有線放送をつなぎたい	天面の「AUX/P-MD」端子に接続します。	
	他のスピーカーをつなぎたい	付属のスピーカー以外はご使用になれません。 本機は、本体と付属スピーカーの組み合わせにより、正しい特性の音が得られます。他のスピーカーを使用すると、故障の原因になるほか、低音が出ないなど、正しい特性の音が得られません。	—
MD	MDネットワークに対応している機器は?	MD NETWORK カタログにこのマークの付いている製品が対応しています。	52
	MDに長時間録音する方法は?	本体の[MD REC MODE]を押して"LP2"または"LP4"を表示させます。 あとは、通常の録音操作をしてください。	31
	MDの残り時間を知りたい	残り時間表示になるまで[DISPLAY]を数回押してください。	50
	録音済みMDに上書き録音したい	MDは、テープと異なり、上書き録音はできません。 MDの残り時間が少ないときは、いらない曲をイレースで消してから録音してください。	イレース(➡41ページ)
	録音済みMDの続きに録音したい	自動的に前の録音部分の続きから録音しますので、そのまま録音してください。 頭出しは不要です。	—
	録音前や録音中に音量や音質を変えたらどうなる?	音量や音質を調節して、スピーカーからの音を変えても、録音される音には影響しません。 ただし、MDの録音レベルを変更すると、録音される音に影響します。	50
	LP2、LP4で録音されたMDはどのプレーヤーでも再生できる?	MD**LP**に対応していないプレーヤーでは再生できません。曲のタイトルの先頭に"LP:"と表示され、無音で再生されます。	—
その他	ハイポジションテープやメタルテープに録音すると、どうなる?	本機では、正しく録音・消去できません。 前回の録音が、完全に消えないことがあります。ただし、使用しても、機器への支障はありません。	—
	長期間使用しないのだが、どうすれば?	節電のために電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いておくことをおすすめします。 ただし、再使用時には、放送局の設定など、各種メモリーの再設定が必要です。 本機の各種メモリー(時計をのぞく)は、電源コードを抜いた状態で、約1週間保持されます(タイマーの時刻設定、放送局の設定など)。	—
	再生時の音質を変えたい	イコライザーの設定を変えてみるのも1つの方法です。	51

こんな表示が出たら

表示	意味	処理
BLANK DISC	MD に 1 曲も録音されていません。	録音にはそのまま使えます。
CAN'T COMBINE	コンバインできません。	MD システム上の制約です。
CAN'T DIVIDE	ディバイドできません。	MD システム上の制約です。
CAN'T EDIT	プログラム、ランダム、1 トラック、1グループ設定中は MD の編集やタイトル入力できません。	各設定を解除したうえで、編集操作を行ってください。
CD NO DISC	CD が入っていません。	CD を入れてください。
DISC FULL	MD の空き時間が足りません。	不要な曲を消去するか、新しい録音用 MD に取り替えてください。
DISC PROTECTED	MD が誤消去防止状態になっています。	録音・編集するには、MD の誤消去防止つまみを閉じた状態にしてください。
EMERGENCY STOP	録音中に異常が発生しました。	MD を入れ直し、操作し直してください。
ERROR	操作が違います。	取扱説明書に従って、操作し直してください。
F □□ H □□ (□□は数字を示します)	内部回路に不具合が起きた可能性があります。	1 度、電源を入れ直してください。それでも表示が消えないときは、販売店にご相談ください。
GROUP DATA FULL	UTOC エリアに空き領域がないため、グループにまとめたり、ディバイドやムーブができません。	不要なタイトルを消去するか、タイトルを短くしてください。または、1 つのグループを解除してください。
EJECT ERROR LOAD ERROR	MD を出し入れしたときに異常が発生しました。自動的に電源が切れます。	MD を一度抜いて、電源を入れ、操作し直してください。
MD F □□ (□□は数字を示します)	MD の読み取りに問題のある可能性があります。	電源を切/入したあと、MD を入れ直してください。それでも表示が消えないときは、販売店にご相談ください。
MD NO DISC	MD が入っていません。	MD を入れてください。
NO GROUP	グループがありません。	グループを編集してから行ってください。
NO PLAY	WMA/MP3 の読み取りに問題が発生しました。 WMA ディスクで、情報部に JPEG など大きなデータが入っていると再生できない場合があります。	再生できません。
NO REMAIN	MD に空きのない状態で、CD の丸録りをしようとしました。	不要な曲を消去するか、新しい録音用 MD に取り替えてください。
NO TAPE	テープが入っていません。	テープを入れてください。
NO MP3/WMA	CD-ROM ディスクで WMA/MP3 がありません。	再生できません。
NOT FIND	タイトルサーチで検索したが候補の曲が見つかっていません。	もう 1 度 [TITLE SEARCH] を押して別の候補の曲を入力して検索してください。
NOT MP3 ERROR E2/E4	本機で再生できない形式のトラックを再生しようとしました。	トラックはスキップされ、次のトラックが再生されます。
PROGRAM FULL	予約曲数が 24 曲を超えています。	これ以上の予約はできません。
PlaybackDISC	再生専用 MD に録音・編集しようとしました。	録音用 MD に取り替えてください。
P-MD（点滅）	MD ネットワークで録音終了後、約 4 分以上ボタン操作がなく放置されています。	MD ネットワーク機能を使うには、もう 1 度 [AUX/P-MD] を押して "P-MD" を選びます。
P-MD ERROR 動作中（TOC 読み込みなどに）	MD ネットワークの異常があります。	ポータブル MD プレーヤーの電池残量やコードの接続を確認して、もう 1 度 [AUX/P-MD] を押して "P-MD" を選びます。
READ ERROR	WMA/MP3 で再生しようとしたトラックが読み取れませんでした。	トラックはスキップされ、次のトラックが再生されます。
SCMS CAN'T COPY	ビデオ CD や CD-ROM など、MD に録音できない音源を録音しようとしました。	オーディオ用の CD に取り換えてください。
	SCMS (➡ 55 ページ) が記録された CD-R や CD-RW から MD に録音しようとしました。	デジタルでは録音できません。 [EDIT MODE] を押して、録音モードを "ANALOG-REC" に切り換えてください (➡ 31 ページ)。 ただし、高速録音はできません。
SELECT OVER	24 曲を超えて消そうとしています。	1 回の操作で、これ以上は消せません。何回かに分けて操作してください。

表　示	意　味	処　理
TAPE PROTECTED	テープが誤消去防止状態になっています。	録音するには、テープのつめ部分にセロハンテープなどを貼ってください。
TITLE FULL	この曲はこれ以上タイトル入力できません。	タイトルを短くしてください。
TITLE OVER	タイトルを書き込むだけの空きがない状態で、まとめてタイトルを入力しようとしました。	録音または再生が終了して "UTOC Writing" の点滅後に、つづきを入力してください。
TOC ERROR	WMA/MP3 または MD の読み取りに問題のある可能性があります。	電源を切/入したあと、WMA/MP3 または MD を入れ直してください。
	MD に異常があるか、損傷しています。	MD を取り替えてください。
TOC Reading	CD または MD の TOC 情報を読み込んでいます。	"TOC Reading" 消灯後に操作してください。
TRACK NUMBER NOT EQUAL	曲数の違う MD へはタイトルをコピーできません。	曲数の同じ MD に取り替えてください。
TRACK PROTECTED	曲にプロテクト(保護)がかかっています。	MD では編集・消去していいか、確認してから操作してください。
		WMA ではそのトラックをスキップして再生します。
UTOC FULL	タイトルの書き込みまたはグループ編集できるだけの空きがありません。	不要なタイトルを消去するか、タイトルを短くしてください。 またはグループを 1 つ解除してください。
	254 曲入っている MD で曲をディバイドしようとしました。 (MD1 枚の最大曲数は 254 曲)	不要な曲を消去するか、2 曲を 1 つにつないでください。

主な仕様

センターユニット部(SA-PM47MD)

アンプ部

実用最大出力 (両 ch 動作)　: 15 W + 15 W
(全高調波ひずみ率 10 %、6 Ω)

FM チューナー部

受信周波数帯域　: 76.0 ～ 90.0 MHz (100 kHz ステップ)
TV 1 ch、2 ch、3 ch (モノラル)
アンテナ端子　: 75 Ω (不平衡型)

AM チューナー部

受信周波数帯域　: 522 ～ 1629 kHz (9 kHz ステップ)

カセットデッキ部

トラック方式　: 4 トラック、2 チャンネル
ヘッド
　録音/再生　: パーマロイ
　消去　: ダブルギャップフェライト
モーター　: DC サーボモーター
録音方式　: AC バイアス 100 kHz
消去方式　: AC 消去
テープ速度　: 秒速 4.8 cm

CD 部

サンプリング周波数　: 44.1 kHz
量子化　: 16 ビット直線
光源　: 半導体レーザー
波長　: 780 nm
チャンネル数　: 2 チャンネル (ステレオ)
ワウ・フラッター　: 測定限界以下
デジタルフィルター　: 8 fs
D/A コンバーター　: MASH (1 ビット DAC)
CD-R、CD-RW 再生可
WMA、MP3 再生可
　対応ビットレート　: WMA　40 kbps ～ 192 kbps
MP3　32 kbps ～ 320 kbps
HighMAT 対応

MD 部

形式　: ミニディスクデジタルオーディオシステム
記録方式　: 磁界変調オーバーライト方式
読取方式　: 半導体レーザー (λ =780 nm) による非接触光学式
サンプリング周波数　: 44.1 kHz
圧縮/伸張方式　: ATRAC/ATRAC3 (MDLP) 方式
チャンネル数　: 2 チャンネル (ステレオ)
ワウ・フラッター　: 測定限界以下
録音再生時間 (ステレオ)
　80 分 MD 使用　: 80 分 (SP)、160 分 (LP2)、320 分 (LP4)

本体総合

電源　: AC 100 V　50/60 Hz
消費電力　: 48 W
寸法 (幅 × 高さ × 奥行)　: 165 × 227 × 315 mm
質量　: 約 4.2 kg

電源スタンバイ時の消費電力　: 約 0.4 W (DEMO OFF 時)

スピーカー部(SB-PM47MD)

形式　: 2 ウェイ 2 スピーカーバスレフ型
　ウーハー　: 10 cm コーンタイプ
　ツイーター　: 6 cm コーンタイプ
インピーダンス　: 6 Ω
許容入力　: 30 W (Music)
出力音圧レベル　: 82 dB/W (1.0 m)
クロスオーバー周波数　: 4 kHz
再生周波数帯域　: 55 Hz ～ 22 kHz (–16 dB)
70 Hz ～ 20 kHz (–10 dB)
寸法 (幅 × 高さ × 奥行)　: 140 × 225 × 222 mm
質量　: 約 1.9 kg

注) 1　この仕様は、性能向上のため変更することがあります。
　2　全高調波ひずみ率は、スペクトラムアナライザーによる第 10 次高調波までの総和です。

故障かな!?

修理を依頼される前に、この表で症状を確かめてください。なお、これらの処置をしても直らない場合や、この表以外の症状は、お買い上げの販売店にご相談ください。

長時間使用すると、本体が熱を持ちますが、使用には差しつかえありません。

	こんなときは	ここをご確認ください	処　理	参照ページ
システム全体に共通	電源を切っているのに表示部が点灯して、次々と変化する。	デモ機能が働いていませんか。	デモ機能を「切」にする。	11
	電源が入っているのに音が出ない。	スピーカーコードの先端のビニール部分を抜いてから接続しましたか。	スピーカーコードを正しく接続する。	8
		スピーカーコードがはずれていませんか。		
	音の位置が定まらない。 左右の音が逆になる。	本機のスピーカーコードの⊕⊖、別売り機器のコードの左右を逆に接続していませんか。	スピーカーコード、別売り機器のコードを正しく接続する。	8・52
	再生中に「ブーン」という音がする。	接続コードの近くに電源コードや蛍光灯がありませんか。	電気器具を本機からできるだけ離す。 電源コードを逆に差しかえてみる。	—
	再生中に音が出なくなった。	スピーカーコードの⊕、⊖がショートしていませんか。	電源を切り、正しく接続し直し、電源を入れる。	9
ラジオ	FM 放送がうまく受信できない。	送信所が遠くありませんか。	簡易型アンテナの場合は、テレビアンテナを利用してみる。	54
	AM 放送がうまく受信できない。	近くに大きなビルや、山がありませんか。	屋外アンテナを利用してみる。	
	雑音、ひずみが多い。 “STEREO” が点滅する。	アンテナの設置場所や向きが悪くありませんか。	付属のアンテナの向きや位置を変えてみてください。屋外アンテナを使うのも一つの方法です。	8・54
		テレビ、ビデオデッキ、パソコン、BS チューナーなどの電源が入っていませんか。	本機と各機器との距離を離すか、各機器の電源を切る。	—
		近くで携帯電話の充電をしていませんか。		
		アンテナ線が電源コードに接近していませんか。	アンテナ線と電源コードを離す。	
		FM ステレオ放送中に音場効果を使用していませんか。	[SHIFT] を押しながら [SURROUND] を押して “SURR OFF” を選ぶ。	50
リモコン	リモコン操作ができない。	乾電池の⊕、⊖が逆になっていませんか。	⊕、⊖を正しく入れる。	7
		乾電池が消耗していませんか。	新しい乾電池と交換する。	
CD	CD を入れても、表示部が変わらない。 再生ボタンを押しても再生が始まらない。	規格外の CD を使用していませんか。	規格の CD と取り替える。	56
		寒い所から急に暖かい所に持ってきたなど、急激な温度差がありませんでしたか。	レンズ部の露付きが考えられます。約 1 時間待ってから使用する。	—
	特定の個所が正常に再生しない。	CD が汚れていませんか。	柔らかい布でふく。	56
	1 曲しか録音できない。	1-TRACK モードになっていませんか。	[PLAY MODE] を押して、1-TRACK モードを解除してください。	17
	高速録音時に音飛びや MD にノイズが記録される。 CD-R/RW から録音できない。	ディスクの表面に傷や指紋が付いていませんか。	傷が付いている場合は CD を交換してください。 指紋は柔らかい布でふいてください。きれいに拭いたあと定速録音を行うと改善される場合があります。 CD-R/RW では、記録状態によっては録音できないことがあります。	—

	こんなときは	ここをご確認ください	処　理	参照ページ
MD	MDを入れても、自動的に引き込まれない。 MDを入れるのに、かなりの力がいる。	排出動作中のMDに、無理な力を加えませんでしたか。	電源を入れ直す。	—
MD	再生できない。	寒い所から急に暖かい所に持ってきたなど、急激な温度差がありませんでしたか。	レンズ部の露付きが考えられます。 約1時間待ってから使用する。	—
MD	録音・編集ができない。	誤消去防止状態になっていませんか。	MDの誤消去防止つまみを閉じる。	55
MD	タイトルが入力できない。	誤消去防止状態になっていませんか。	MDの誤消去防止つまみを閉じる。	55
MD	MDのタイトルや曲名が出なかったり、表示が途切れたりする。	MDに記録できる文字数（英数記号で最大約1700文字。カナは約その半分。）を超えていませんか。	文字数の少ないタイトルに付け直す。	45
MD	MDを入れても“TOC Reading”が点滅したままで、操作ができなくなる。 また、この状態で［EJECT ▲］を押しても、MDが出てこない。	MDのTOC情報読み込み中に異常が発生しました。	① ［POWER ⏻/I］を押す。しばらくするとカチッと音がして完全に電源が切れます。 ② 電源を入れ、すぐ［EJECT ▲］を押す。MDが出てきます。（出てこないときは、手順①②をくり返す） ③ MDを取り替える。 異常が再発するときは、販売店にご相談ください。	—
MD	高速録音ができない。	録音開始から74分間経過せずに同じ曲を録音しようとしませんでしたか。	74分待ってから録音する。	34・35
MD	ディスクタイトルの表示がおかしい。	グループ機能未対応機種でタイトル入力や編集作業を行いませんでしたか。	本機で入力をやり直してください。	42
MD	ディスクタイトルが正しく表示されない。	—	本機でグループ編集を行ったMDを、グループ編集未対応の機種で再生するとディスクタイトルが正しく表示されません。	—
MD	LP4モードで録音された曲で若干の音漏れが生じる。	—	LP4モードで録音された曲をつなげたり、分けた部分は若干の音漏れを生じることがあります。	—
テープ	音が途切れる、雑音が多い。	ヘッドが汚れていませんか。	ヘッド部を清掃する。	54
テープ	録音状態にならない。	録音用のつめを折っていませんか。	つめを折った部分にセロハンテープを貼る。	56
テープ	録音が少し途切れる。	—	テープのおもて面からうら面に切り換わるときに、録音は少し途切れます。 片面ずつプログラム録音してみるのも1つの方法です。	38
テープ	テープが取り出せない。	—	AM放送をMDに録音または録音待機中はテープを取り出せません。停止後に行ってください。	—
その他	イントロスキャンできない。 タイトルサーチできない。	プログラムまたはランダムプレイを設定していませんか。	解除してから行ってください。	16・17
その他	WMA/MP3ディスクでタイトルが表示されない。	本機で表示できない文字（ひらがな、漢字等）で付けていませんか。	パソコンでフォルダやファイルに名前を付けるときは、本機で表示できる文字（カタカナ、アルファベット、数字、記号）で付けてください。	20
その他	WMA/MP3ディスクが正しく読み込まれない。	マルチセッションでディスクを作成している場合、セッションの終了処理をしましたか。	セッションの終了処理を行ったWMA/MP3ディスクを使用してください。	—
その他	WMA/MP3ディスクが正しく読み込まれない。	1セッションあたりのデータ量が小さくありませんか。	1セッションのデータ量を約5 MB（3分程の曲で約2曲分）以上にしてください。	—

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は…
- 修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ！
- その他のお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ！

■ 保証書（別添付）
お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体 1 年間

■ 補修用性能部品の保有期間
当社は MD ステレオシステムの補修用性能部品を、製造打ち切り後 8 年保有しています。
注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ 修理を依頼されるとき
60 ～ 61 ページの表に従ってご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

●保証期間中は
保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。

●保証期間を過ぎているときは
修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

●修理料金の仕組み
修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料 は、診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。
出張料 は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ご連絡いただきたい内容			
品　名	MD ステレオシステム	お買い上げ日	年　　月　　日
品　番	SC-PM47MD	故障の状況	できるだけ具体的に

修理に関するご相談

ナショナル／パナソニック　修理ご相談窓口

ナビダイヤル（全国共通番号）　**0570-087-087**

- お客様がおかけになった場所から最寄りの修理ご相談窓口につながります。呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS等からは最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。
- 最寄りの修理ご相談窓口は、次ページをご覧ください。

使いかた・お買い物などのご相談

ナショナル／パナソニック　お客様ご相談センター

365日／受付9時～20時

電話　フリーダイヤル　**0120-878-365**（パナは 365日）
■携帯電話・PHSでのご利用は… **06-6907-1187**
FAX　フリーダイヤル　**0120-878-236**

Help desk for foreign residents in Japan
〈外国人／海外仕様商品（ツーリスト商品他）等ご相談窓口〉
Tokyo (03) 3256 - 5444　**Osaka** (06) 6645 - 8787
Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays / Sundays / national holidays)

ナショナル／パナソニック

修理ご相談窓口

ナビダイヤル（全国共通番号） 0570-087-087

- お客様がおかけになった場所から最寄りの修理ご相談窓口につながります。
  呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS等からは最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。

北海道地区

窓口	所在地	電話番号
札幌	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7	☎(011)894-1251
旭川	旭川市2条通21丁目左1号	☎(0166)31-6151
帯広	帯広市西19条南1丁目7-11	☎(0155)33-8477
函館	函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内）	☎(0138)48-6631

東北地区

窓口	所在地	電話番号
青森	青森市第二問屋町3-7-10	☎(017)739-9712
秋田	秋田市御所野湯本2丁目1-2	☎(018)826-1600
岩手	盛岡市羽場13地割30-3	☎(019)639-5120
宮城	仙台市宮城野区扇町7-4-18	☎(022)387-1117
山形	山形市流通センター3丁目12-2	☎(023)641-8100
福島	福島県安達郡本宮町字南ノ内65	☎(0243)34-1301

首都圏地区

窓口	所在地	電話番号
栃木	宇都宮市御幸町194-20	☎(028)689-2555
群馬	高崎市大沢町229-1	☎(027)352-1109
水戸	水戸市柳河町309-2	☎(029)225-0249
つくば	つくば市花畑2丁目8-1	☎(0298)64-8756
埼玉	桶川市赤堀2丁目4-2	☎(048)728-8960
千葉	千葉市中央区星久喜町172	☎(043)208-6011
東京	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17	☎(03)5477-9780
山梨	甲府市宝1丁目4-13	☎(055)222-5171
神奈川	横浜市港南区日野5丁目3-16	☎(045)847-9720
新潟	新潟市東明1丁目8-14	☎(025)286-0171

中部地区

窓口	所在地	電話番号
石川	石川県石川郡野々市町稲荷3丁目80	☎(076)294-2683
富山	富山市寺島1298	☎(076)432-8705
福井	福井市開発4丁目112	☎(0776)54-5606
長野	松本市大字笹賀7600-7	☎(0263)86-9209
静岡	静岡市西島765	☎(054)287-9000
名古屋	名古屋市瑞穂区塩入町8-10	☎(052)819-0225
岡崎	岡崎市岡町南久保28	☎(0564)55-5719
岐阜	岐阜県本巣郡北方町高屋太子2丁目30	☎(058)323-6010
高山	高山市花岡町3丁目82	☎(0577)33-0613
三重	久居市森町字北谷1920-3	☎(059)255-1380

近畿地区

窓口	所在地	電話番号
滋賀	守山市勝部6丁目2-1	☎(077)582-5021
京都	京都市伏見区竹田中川原町71-4	☎(075)672-9636
大阪	大阪市北区本庄西1丁目1-7	☎(06)6359-6225
奈良	大和郡山市椎木町404-2	☎(0743)59-2770
和歌山	和歌山市中島499-1	☎(073)475-2984
兵庫	神戸市中央区琴ノ緒町3丁目2-6	☎(078)272-6645

中国地区

窓口	所在地	電話番号
鳥取	鳥取市安長295-1	☎(0857)26-9695
米子	米子市米原4丁目2-33	☎(0859)34-2129
松江	松江市平成町182番地14	☎(0852)23-1128
出雲	出雲市渡橋町416	☎(0853)21-3133
浜田	浜田市下府町327-93	☎(0855)22-6629
岡山	岡山県都窪郡早島町矢尾807	☎(086)292-1162
広島	広島市西区南観音8丁目13-20	☎(082)295-5011
山口	山口市鋳銭司字鋳銭司団地北447-23	☎(083)986-4050

四国地区

窓口	所在地	電話番号
香川	高松市勅使町152-2	☎(087)868-9477
徳島	徳島県板野郡北島町鯛浜字かや108	☎(088)698-1125
高知	南国市岡豊町中島331-1	☎(088)866-3142
愛媛	松山市土居田町750-2	☎(089)971-2144

九州地区

窓口	所在地	電話番号
福岡	春日市春日公園3丁目48	☎(092)593-9036
佐賀	佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044	☎(0952)26-9151
長崎	長崎市東町1949-1	☎(095)830-1658
大分	大分市萩原4丁目8-35	☎(097)556-3815
宮崎	宮崎市本郷北方字草葉2099-2	☎(0985)63-1213
熊本	熊本市健軍本町12-3	☎(096)367-6067
天草	本渡市港町18-11	☎(0969)22-3125
鹿児島	鹿児島市与次郎1丁目5-33	☎(099)250-5657
大島	名瀬市長浜町10-1	☎(0997)53-5101

沖縄地区

窓口	所在地	電話番号
沖縄	浦添市城間4丁目23-11	☎(098)877-1207

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

0103

さくいん

愛情点検　長年ご使用の MD ステレオシステムの点検を!

こんな症状はありませんか	● 煙が出たり、異常なにおいや音がする ● 音が出ないことがある ● 正常に動作しないことがある ● 商品に破損した部分がある ● その他の異常や故障がある

このような症状の時は使用を中止し、故障や事故の防止のために、必ず販売店に点検をご相談ください。

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です。）

販売店名	☎（　　）　―	品番	SC-PM47MD
お客様ご相談窓口	☎（　　）　―	お買い上げ日	年　月　日

松下電器産業株式会社　ネットワーク事業グループ
〒 571-8505 大阪府門真市松生町 1 番 4 号